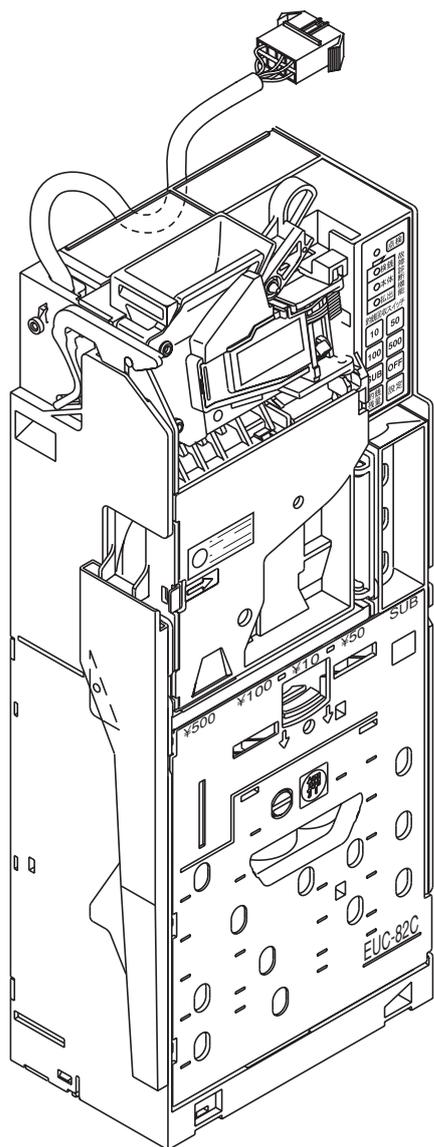


EUC82C シリーズ コインメック Service Manual



82 Series

も く じ

■概要・機種名設定基準（機種品番の見方）	2	■拡張コマンド対応品（付加機能）	15
■仕様一覧・補足	3	■点検マニュアル	16
●シリアルラベルの見方	3	■故障コード	17
●詳細仕様	4～5	■特別範囲の設定機能	18～20
■簡易つり銭合わせ機能の使いかた	6	■硬貨データの調整（再設定）方法	21～22
■硬貨選別通路と機能	7	■簡単なお手入れ	23
■各部の名称と働き	8	●硬貨選別機の清掃	23
■ディップスイッチの切替え	9～11	●カセットチューブの清掃	23
■ご使用方法（取付け方）	11	■硬貨選別機の分解と組立	24～26
■つり銭硬貨の入れかた	12	■本体部の分解と組立	27
■つり銭硬貨の回収のしかた	13	■払出し底部の分解と組立	28～29
■販売テスト	13	■払出し機構下部の組立方法（詳細）	30
■故障診断機能およびつり銭回収スイッチ	14	■EUC82シリーズ・ブロック配線図	31

概要・機種名設定基準 (EUC82C コインメックの品番付与方法)

● 概要

- EUC82C シリーズは自動販売機本体コントロールとのデータ交信にシリアル通信方式を採用し、硬貨選別は電子検銭部を備え、10円貨、50円貨、100円貨、500円貨の4金種、硬貨収納部は着脱可能なつり銭カセットチューブ構造で、つり銭硬貨の補給、回収が簡単に行えます。
- 自動つり銭合わせ機能は、各チューブのつり銭保有枚数を算出し、主制御側からの指示に従い、硬貨の入金、払出し制御を行います。
- 500円硬貨現物エスクロ機能、100円硬貨現物エスクロ機能を備え、500円硬貨または100円硬貨を投入し、商品を購入せずに返却操作すると投入した硬貨そのものを返却し正貨とのすり替えを不可能にします。

● 機種名設定基準 (機種品番の見方)

EUC82 C □ □ □ □ □ □ □

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

- ① 名称区分 シリーズ名称を表わします。
(上記品番は EUC82 シリーズとなります)
- ② 価格設定数区分 (C : 価格設定 SW なし、シリアル通信方式、カセットチューブ)
- ③ コネクタ区分 (4 : 8P (日圧製 XL コネクタ使用)、左記以外のコネクタ品種を使用する場合は、5、6、7、と分類していきます)
- ④ 設計順位 1…初回品、2…付加機能 (拡張コマンド対応品)、3…点検ランプ点灯条件変更品
4…2009年仕様 (500円硬貨の最大投入金額が13枚になります。)
- ⑤ 仕様区分 (表1参照)

表1 仕様区分 (1)

記号	金種対応 4WAY	100円、500円 現物エスクロ機能		つり銭管理機能			500円つり銭 1枚検知機能	
		有	無	自動つり銭 モード対応	残量モード 対応	簡易つり銭 合わせ	有	無
YE	●	●		●	●	●		●
YF	●	●		●	●	●	●	

⑥ 準オプション区分 (表2参照)

表2 準オプション区分

記号	10/100 切替式 ダイレクト補助機		排水ダクト		チューブ レバーロック	
	取付可	不可	有	無	有	無
1	●		●		●	
2	●			●	●	
3		●	●		●	
4		●		●	●	
5		●				●
A	●		●		●	
B	●		●		●	

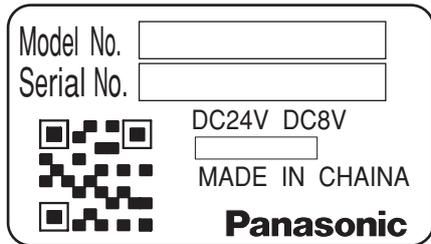
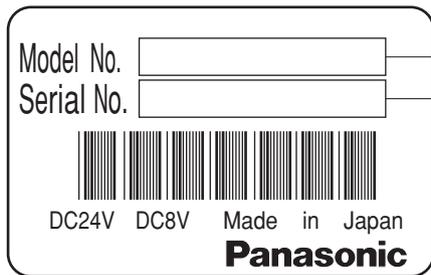
⑦ 設定区分 (表3参照)

表3 設定区分/工場出荷
SW101、SW102設定指定

記号	内容
G	版数表示
Z	SW102-5(簡易)ON SW101-6(100円エスクロ)ON SW101-7(500円エスクロ)ON
J	現物エスクロ無し設定
F	RoHS 対応

仕様一覧・補足

● シリアルラベルの見方



機種品番
(例) EUC82C44YFBF
※機種品番の見方は 2 ページをご覧ください。

シリアル No.
(例) 09 6 □ □ □ □ □ □

6桁機番 (連番)
生産月 1月 9月 10月 11月 12月
1~9、O、N、D
生産年 西暦 2009

● 仕様一覧表

	EUC82C シリーズ					
使用(受入)硬貨・つり銭払出硬貨	10円貨、50円貨、100円貨、500円貨(新/旧)					
最大投入金額	8960円(10円×31枚、50円×31枚、100円×31枚、500円×8枚※1)					
硬貨選別機(受入率、スピード)	電子検銭方式(10円貨・50円貨・100円貨95%以上、※2 500円貨90%以上、約1.5枚/秒)					
硬貨投入枚数制限※4	10円貨(32枚)、50円貨(32枚)、100円貨(32枚)、500円貨(8枚)※3					
つり銭の収容枚数	自動補給チューブ				手動補給チューブ(補助つり銭チューブ)	
	10円貨 約94枚	50円貨 約79枚	100円貨 約76枚	500円貨 約68枚	10円貨 約155枚	100円貨 約141枚
つり銭払出し(払出し速度)	DCモータと切り替えソレノイドによる払出し方式(500円貨約1.5枚/秒、その他の金種約1.8枚/秒)					
つり銭切れ検知	近接センサ方式					
つり銭切れ検知枚数	10円貨 12±3枚	50円貨 12±3枚	100円貨 12±3枚	(YF仕様) 12±3枚	500円貨 7±3枚	
電源電圧	DC 24V ± 10%、DC 8V ± 5%					
定格消費電流	24V	待機時 0.2A 以下	※5 動作時 0.7A 以下	※6 ピーク時 1.2A 以下		
	8V	待機時 0.2A 以下	※5 動作時 0.2A 以下	※6 ピーク時 0.2A 以下		
使用温度範囲	-15℃~+60℃					
質量	約1.5kg					
機能	一時保留機能、故障診断機能、インベントリ機能、つり銭管理機能、投入枚数記憶機能					

※1、2009年仕様は、13枚です。

※2、ただし、500円貨2投目までの受入率は95%以上。

※3、● 500円自動補給数切換えスイッチにより、8枚設定で動作している場合、4枚で500円貨の入金を禁止します。2009年仕様は、13枚設定で動作している場合、4枚で500円貨の入金を禁止します。

● つり銭管理機能の自動チューブ残量モード、または、チューブ別残量モードで動作しているとき、いずれかの金種が設定枚数まで達した場合、その金種の入金を禁止します。

※4、● 硬貨投入枚数制限、いずれかの金種が下記枚数に達したとき、すべての金種の受入れを禁止します。
(10円貨、50円貨、100円貨……32枚、500円貨……8枚、2009年仕様は500円貨……13枚)

● 500円現物エスクロ機能動作時、500円貨は3枚で入金禁止となります。

また、100円現物エスクロ機能動作時、100円貨は4枚で入金禁止となります。

● 抑止機能動作時、各金種が下記の枚数に達したとき、その金種の硬貨は入金禁止となります。

10円……………20枚、50円……………4枚

100円……………4枚、500円……………1枚

※5、つり銭払出しモータ等動作時。

※6、max 5秒。

★本機の外観、仕様(定格)、回路、使用部品は性能向上、その他により予告なく変更することがあります。

●詳細仕様

(1) つり銭管理機能

主制御部からの指示に従い、4種類のつり銭管理機能を有する。

- ① 自動つり銭モード ……………自動補給チューブに保有されたつり銭設定枚数に対するつり銭硬貨の増加分を払い出す。
- ② 自動チューブ残量モード ……………通常動作中、つり銭枚数設定に達した投入硬貨を金庫側に導く。
- ③ チューブ別つり銭モード ……………SUB チューブまで含めて、つり銭設定枚数に対するつり銭の増加分を払い出す。
- ④ チューブ別残量モード ……………通常動作中、残量設定枚数に達した投入硬貨を金庫側に導く。

一方、コインメック単独では簡易つり銭合わせ機能が可能です。

(2) 硬貨の受入れ禁止

下記のような場合、主制御部からの禁止信号の有無に関係なく硬貨の受入れが禁止され投入硬貨はすべて返却します。

- ① 電源遮断時(停電時)。
- ② 販売動作時、インベントリ動作時、返金動作時、通信異常時、硬貨選別機異常時、電源投入時(約2秒)。
- ③ 硬貨の投入枚数が同一硬貨の連続投入枚数に達したとき。

500円保留枚数切換えスイッチ (SW101-8)	同一硬貨投入枚数			
	10円	50円	100円	500円
OFF(65枚(非管理)側)	32枚	32枚	32枚	8枚
ON(8枚側、2009年仕様は13枚側)	32枚	32枚	32枚	4枚

- ④ つり銭合わせ設定枚数が上表の同一硬貨投入枚数以下に設定されている場合、その設定枚数に投入硬貨枚数が達した時点ですべての硬貨の受入れを禁止します。
- ⑤ カセットチューブが正常に取付けられていないとき。
- ⑥ 主制御部からのコマンド同期信号が0.6秒以内に1回送信されない場合に、コマンド同期用信号が送信されるまでの期間。
- ⑦ 金種別受入れ禁止設定機能が設定されている場合、当該硬貨の受入れを禁止します。

(3) 抑止機能

アクセプタ背面の8連ディップスイッチのSW101-5をONにすることによって、「抑止機能」の設定ができます。抑止機能有効時は、返却換金行為をされるたびに受付禁止タイマーを連続自動延長することにより返却換金行為を抑止します。

(4) エスクロ機能

すべての投入硬貨は、硬貨返却用レバーを押すことにより、すべて投入金種にて返却します。

(5) 点検SWおよび点検LED機能

点検SWおよび点検LEDは、主制御側との拡張コマンドによって制御されます。

- 点検LEDは、下記条件の時、コインメック単独で点灯します。
直近100枚の受け入れ率データ(EDC=83)の内、何れかの金種が80%以下になった時、点検LEDを点灯します。
- 点検LEDは、下記の条件の時、コインメック単独で消灯します。
上記条件で点検LEDが点灯中の時、点検SWが押下されると点検LEDを消灯します。
(この時受け入れ率データ(EDC=83)は初期化されます。又、点検SW状態データは送信しません)

(6) つり銭情報

コインメック内のつり銭情報は、“金種別つり銭払出し可能枚数データ”にて主制御部に送信されます。

(7) 同時払出し機能

メインチューブにおいては、2金種(10円と100円)または、3金種(10円、50円と100円)の同時払出しが可能です。

(8) 自動つり銭合わせ機能

主制御部のあらかじめ設定されたつり銭枚数に基づき、コインメック内のつり銭枚数を制御する機能で、制御方式として以下の2モードから自動つり銭合わせモード切換えスイッチによる選択が可能となっています。(この機能は自動販売機本体の主制御部に同種の機能が装備されておりませんと働きません。)

● チューブイン方式

主制御部のあらかじめ設定されたつり銭枚数に合わせるべく、硬貨回収時に増加している自動補給チューブの硬貨を払出す方式で、投入硬貨はつり銭チューブが満杯となるまでつり銭チューブに保留されます。

● チューブ残量方式

主制御部のあらかじめ設定されたつり銭枚数につり銭チューブの硬貨保有枚数が達した場合、以降の投入硬貨を金庫(キャッシュボックス)側に導く方式です。

(つり銭設定枚数よりつり銭保有枚数が多い場合は増加分の払出しを行います。)

(9) 自動つり銭合わせスイッチ機能

スイッチを押すことにより自動つり銭合わせ機能のつり銭増加分の払出し動作を行います。(主制御部に同種の機能が装備されておりませんと働きません。)

(10) 簡易自動つり銭合わせ機能(ただし、サブチューブは除く)

本機能は主制御部との特定の交信を不要とし、コインメックのカセットチューブに設定したい枚数の硬貨を入れ、コインメックにカセットチューブをセットした後に設定されたつり銭枚数に基づきコインメック自身がつり銭の増減管理を制御する機能です。

(11) 簡易自動つり銭合わせスイッチ機能

スイッチを押すことにより簡易自動つり銭合わせ機能のつり銭増加分の払出し動作を行い、不足硬貨の投入待ちを行います。

(12) 100円/500円現物エスクロ機能

100円または500円硬貨の投入返却動作が行われた場合に、投入された100円または500円硬貨の現物を返却する機能です。本機能が設定されますと、100円または500円の入金は4枚または3枚までになります。

(13) 故障診断機能

コインメックに故障が発生した場合、主制御部にその異常内容を知らせ(硬貨選別機の通路汚れ検知を除く)ると同時に、インベントリーパネル部にあるモニターLEDが点滅または消灯します。

モニターLEDは、硬貨選別部、本体部、および払出し部を表す3個のLEDにより構成され、コインメック各部の状態を下記のように表します。(P.15参照)

	点 灯	点 滅	消 灯
硬貨選別ブロック	動作可能状態	通路汚れ検知 硬貨振分部詰まり	選別センサ断線 ストローブセンサ断線
本 体 ブ ロ ッ ク	動作可能状態	カセットチューブ未装着	チューブ満杯検知異常
払出しブロック	動作可能状態	硬貨払出し詰まり	払出し機構故障 つり銭切れセンサ断線

(14) 金種別受入れ禁止設定機能

コインメック側が単独で、任意の金種を受入れ禁止に設定する機能です。

(15) インベントリー禁止制御機能

a. 通常のインベントリー動作(簡易自動つり銭合わせ機能を含む)の機能停止を、主制御部の指令により許可/禁止を制御する機能です。(主制御部に同種の機能が装備されておりませんと働きません。)

b. コインメック側でのインベントリー禁止機能の設定は、カセットチューブをコインメックから外しインベントリーパネルの「設定」を5秒以上押し続けて設定します。故障診断LEDの本体LEDが1秒間高速点滅します。コインメック側でのインベントリー禁止機能の解除方法は、設定方法と同じことを再度くり返すことにより、インベントリーパネルの「設定」を5秒以上押し続けると解除されます。

(16) 追加払出し機能

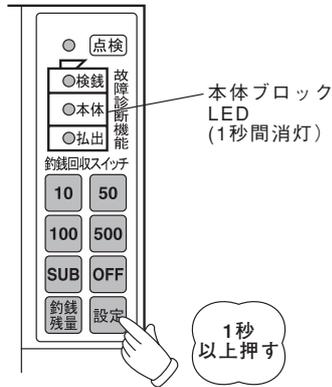
つり銭の払出し動作終了後、商品詰まりなどの理由によりつり銭が追加となったときに、主制御部からのCREM OFF指令により追加分を続けて払出すことができます。

■簡易つり銭合わせ機能の使いかた（サブチューブは除く）

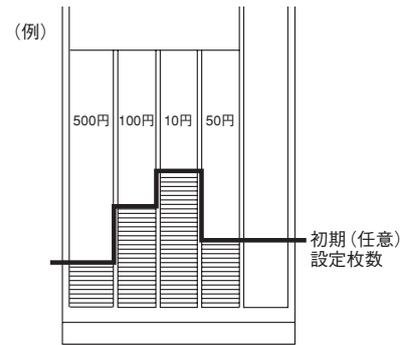
① 設定のしかた

- (1) カセットチューブを外し、設定したい枚数を各金種チューブに補充します。
(P.13参照)
- (2) カセットチューブをコインメックにセットします。
(P.13参照)
- (3) インベントリースイッチ部の **設定** スイッチを1秒以上押すことにより、設定されます。

●このとき、インベントリーパネル部の本体ブロック用故障診断LEDが1秒間消灯すると*セット完了です。



※コインメック自身はセット時のチューブ内硬貨枚数は認識しませんが、その時点初期値(±0)として以降の運用にて初期値に対して入金により増えた分を増加分(+)、つり銭払出により減った分を不足分(-)として算出します。

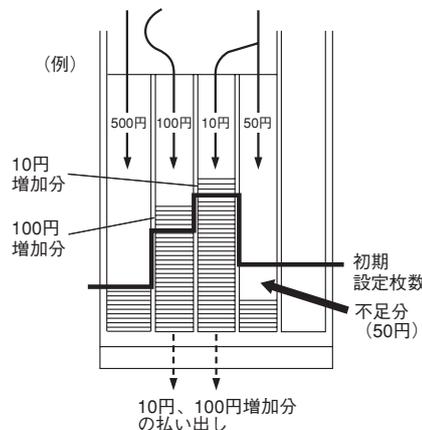
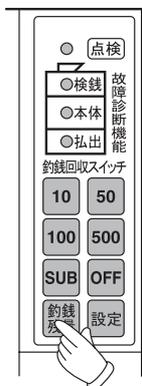


⚠ 注意

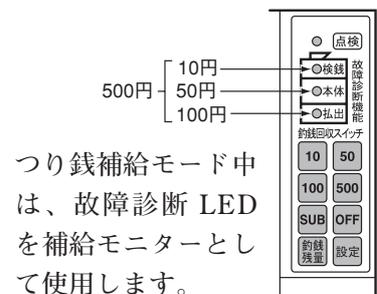
- 本機能はバックアップ機能を備えていませんので、停電などで電源が遮断されたときや主制御側との通信が遮断されたときは、再設定してください。

② つり銭の回収/補充のしかた

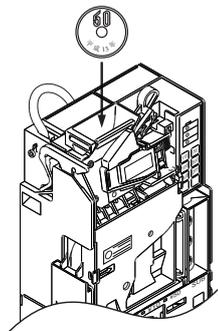
- (1) インベントリースイッチの **釣銭残量** ボタンを1秒以上押すことによりセット数より多い分の硬貨を払出しが終了すると、自動的につり銭補給モードに移行します。



- (2) つり銭が設定枚数より少ない硬貨がある場合、該当金種の故障診断LEDが消灯します。また10円～100円の補充が完了し、500円が不足しているときは、全てのLEDが点滅します。



例えば50円硬貨(つり銭の払出により減った分の補充)



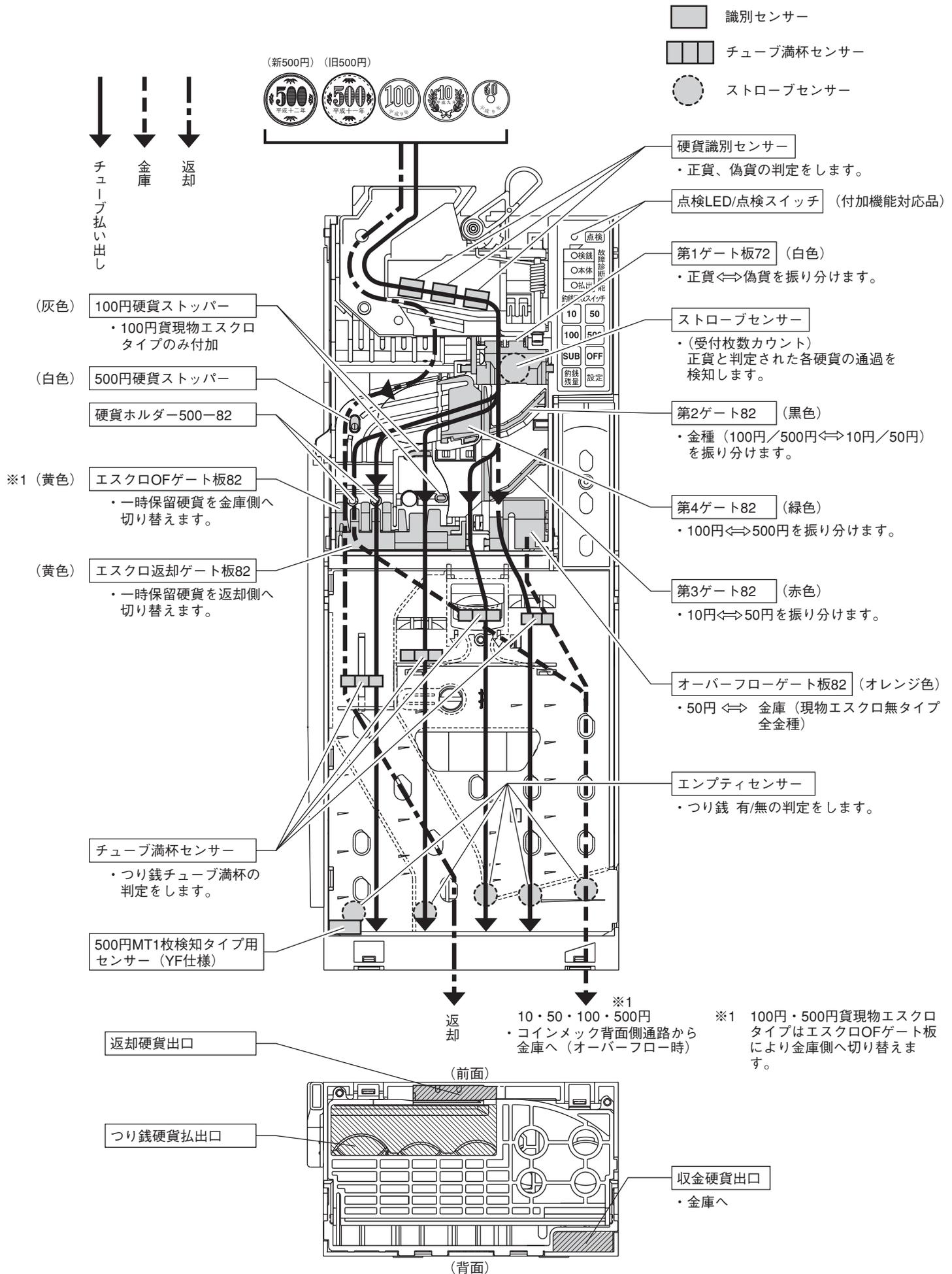
- コイン投入口より50円硬貨投入を行い初期設定位置まで受入します。
- オーバー分の投入硬貨は、返却口へ戻します。
- 全ての金種が初期設定枚数に達成後は故障診断LEDがすべて点灯し、待機状態に戻ります。

不足硬貨の投入完了後は、インベントリーOFFスイッチを押すか、タイマー(30秒)で自動復帰します。 **注意**

⚠ 注意

- インベントリースイッチにて、つり銭回収操作(チューブ内枚数以上の空打ち動作時のみ)をすると、正しいつり銭合わせができなくなります、再設定してください。
- 初期設定をクリアしない限り、自動復帰後もつり銭合わせが可能です。
- 電源ON/OFFした場合に、つり銭の初期設定をクリアします。

■硬貨選別通路と機能



■各部の名称と働き

自販機側コントロール接続コネクタ

日圧 8 PXL

返却レバー

硬貨選別機 (検銭部)

- 10円貨、50円貨、100円貨、500円貨を選別する硬貨選別機です。いたづらなどで、流し込まれた液物を外部に排出し、メンテナンスを軽減する構造を採用しています。

ロックレバー

- 硬貨選別機を外すときに押し上げます。

セパレータ開閉爪

- 硬貨選別機の硬貨通路の取扱、清掃時にセパレータを開きます。(P.24参照)

排水ダクト

- 硬貨選別機の排水口から排出された液物を外部に排出します。

手動補給口

- 手動で硬貨を補給できます。

カセットチューブ

こんなときつり銭を補充してください

- 販売機のつり銭ランプが点灯したとき……つり銭が約15枚以下(500円貨は約7枚以下)になるとつり銭切れとなり、つり銭の必要な価格の商品が販売できません。

△ 注意

つり銭を補充するときは、各チューブとも黄線までにしてください。入れすぎると、硬貨が詰まることがあります。

- 販売機ドアの返却レバーを押すところが押されて返却信号が出ます。

点検LED/点検スイッチ (付加機能対応品) (P.15)

故障診断機能ランプ

- 検銭、本体、払出し、各ブロック別故障診断、簡易表示 (点灯、点滅、消灯) (⇒ P.5、P.14)

つり銭回収スイッチ (P.13)

- 各つり銭チューブの硬貨を払い出して取り出すとき、それぞれのスイッチを押してください。

設定スイッチ

つり銭合わせスイッチ

SUBチューブ硬貨補給口

※黄線 (つり銭補給上限)

△ 注意

- 黄線 (つり銭補給上限) 以上には硬貨を入れないでください。

禁止 つり銭を入れすぎると、硬貨識別機での硬貨詰まりなどの不具合につながる恐れがあります。必ず確認してください。

レバーロック/チューブロックレバー

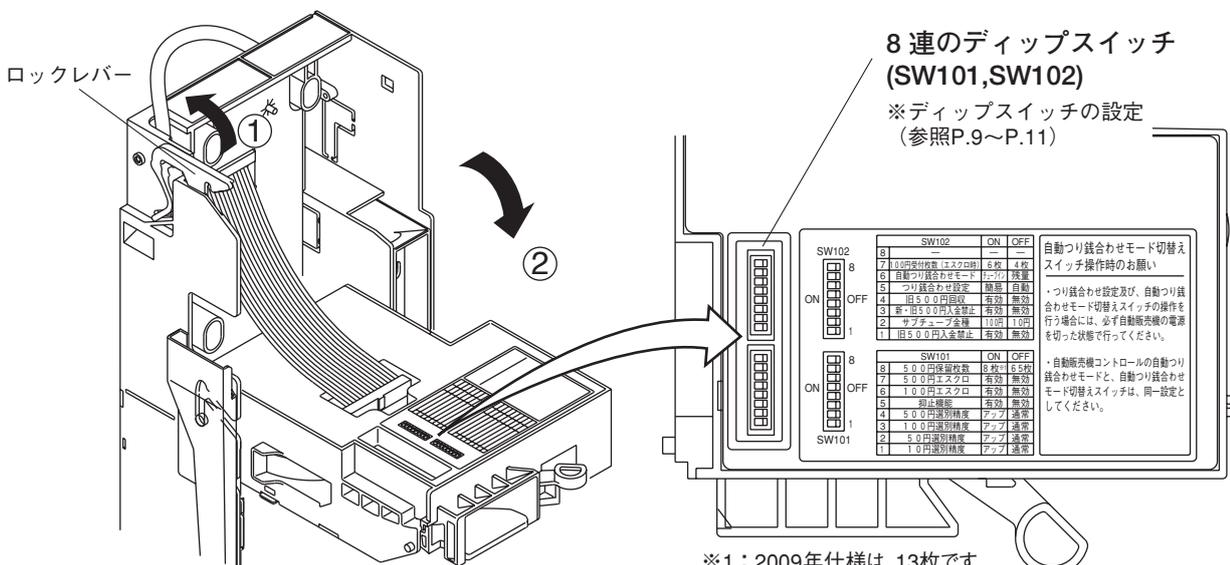
- レバーロック (白色) を左へ回してから、青いチューブロックレバーとカセットチューブのくぼみをはさみながら手前に引くとカセットチューブが外れます。(P.27参照)

ディスペンサ底板開閉爪

- 払出し機の点検、清掃時にプレートを開きます。(P.28参照)

設定スイッチ (ディップスイッチ)

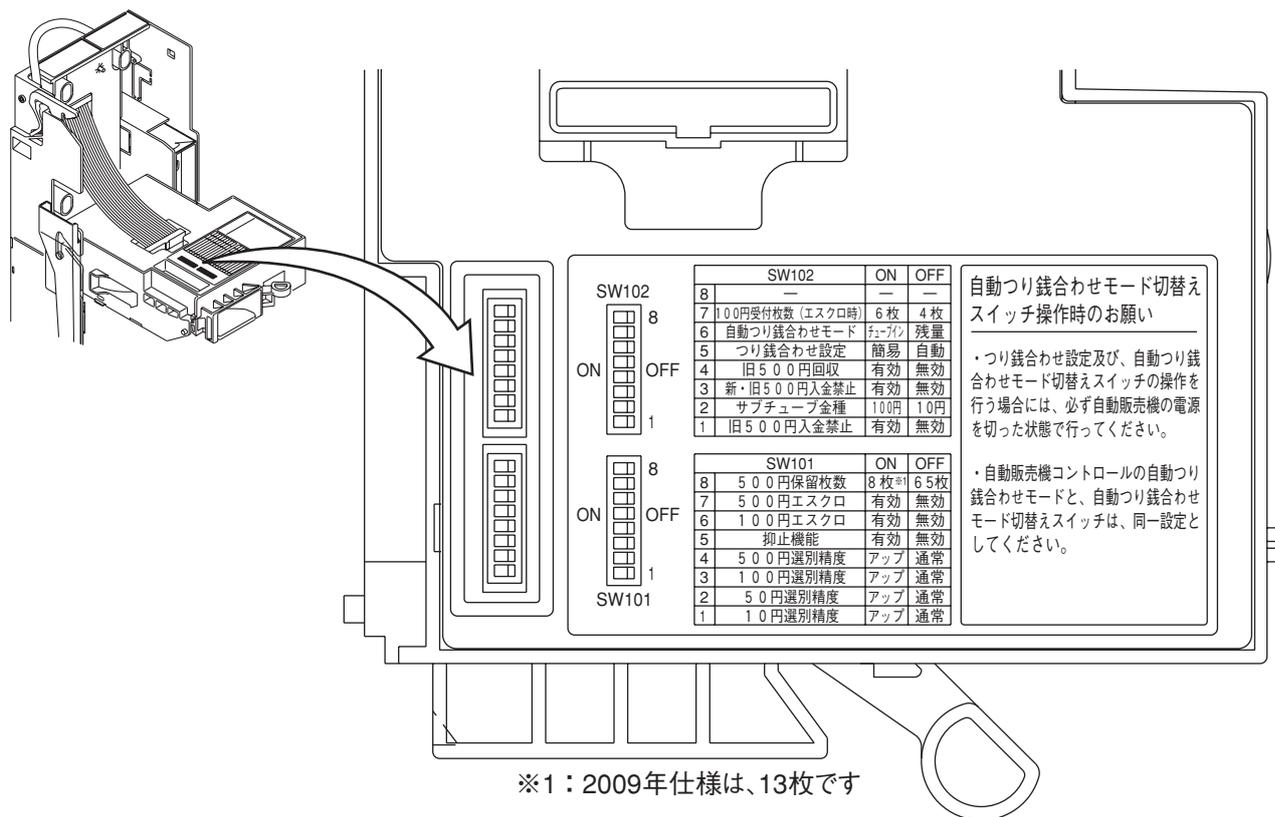
- ・ロックレバーを矢印 ① 方向に押し上げ、② 硬貨選別機を手前に倒します。



※1: 2009年仕様は、13枚です

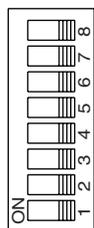
■ディップスイッチの切替え

硬貨選別機を手前に倒すと裏側に8連のディップスイッチ (SW101、SW102) が2個あります。



●ディップスイッチの設定

SW101



●500円保留枚数設定 (ディップ SW101-8)

SW101-8をOFF側 (65枚) に設定すると、投入された500円硬貨は、チューブ満杯検知しオーバーフローするまでチューブ側に補給されます。一方、ON側 (8枚、2009年仕様は13枚) に設定すると、500円チューブが残り状態の場合、投入された500円硬貨を金庫側に導きます。8枚 (2009年仕様は13枚) 設定で動作している場合、500円硬貨の最大投入枚数は4枚に制限されます。

(ただし、500円現物エスクロ機能有効時、500円硬貨の最大投入枚数は2枚となります。)
(また、抑止機能有効時、500円硬貨の最大投入枚数は1枚となります。)

●100円および500円現物エスクロ機能 (SW101-6、7)

100円貨および500円貨の投入返却動作が行われた場合に、投入された100円貨および500円貨の現物を返却する機能です。

本機能の設定は、SW101-6およびSW101-7をON側に設定することにより機能します。

SW101-6：100円現物エスクロ機能設定用

SW101-7：500円現物エスクロ機能設定用

本機能が設定されますと、投入された100円貨および500円貨を硬貨選別機内に一時的に保留します。

以降、返却動作もしくは販売動作が行われますと、一時保留された100円貨および500円貨は下記の条件により、各導入先へ振り分けられます。

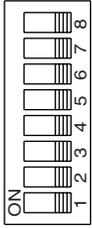
返金する場合・・・一時保留した100円貨および500円貨の現物を返却口に戻します。

収金する場合・・・一時保留した100円貨および500円貨をつり銭チューブ内、もしくは金庫側へ導きます。

硬貨選別機内に一時保留できる硬貨の枚数は、100円貨の場合4枚、500円貨の場合3枚となります。

一時保留中の100円貨および500円貨の収金時、通常は各つり銭チューブへ導きますが、つり銭チューブが満杯状態、もしくは自動チューブ残量モード等で金庫側となっている場合は、金庫側へ導きます。

SW101



● 抑止機能 (SW101-5)

販売動作を伴わない硬貨の投入返却が行われた場合に、一時的に硬貨の受け入れを制限する機能です。

1. 連続受入枚数制限機能 (○は ON 設定)

抑止機能	100円		500円		一度に投入可能な枚数			
	エスコロ設定	エスコロ設定	500円	保留枚数設定	10円	50円	100円	500円
			8枚設定※1		32枚	32枚	32枚	4枚
			65枚設定		32枚	32枚	32枚	8枚
	○		8枚設定※1		32枚	32枚	4枚	4枚
	○		65枚設定		32枚	32枚	4枚	8枚
		○	8枚設定※1		32枚	32枚	32枚	3枚
		○	65枚設定		32枚	32枚	32枚	3枚
	○	○	8枚設定※1		32枚	32枚	4枚	3枚
	○	○	65枚設定		32枚	32枚	4枚	3枚
○			8枚設定※1		20枚	4枚	4枚	1枚
○			65枚設定		20枚	4枚	4枚	1枚
○	○	○	8枚設定※1		20枚	4枚	4枚	1枚
○	○	○	65枚設定		20枚	4枚	4枚	1枚

※1：2009年仕様は13枚です。

2. 返却操作による受入禁止タイマー

1) 対象金種

50円・100円・500円

2) 受入禁止タイマー起動条件

条件1：連続投入制限枚数まで投入した後、返却レバー操作にて返金された場合

条件2：連続投入制限枚数まで満たない状態で、返却レバー操作にて連続2回返金された場合

3) 受入禁止タイマーの学習機能

連続して受入禁止タイマー起動条件を満たす場合は、回数を重ねる毎に受入禁止タイマーを長く設定します。

4) タイマー時間

回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目以降
時間	30秒	1分	2分	4分	4分

● 硬貨選別精度の設定 (SW101-1～4)

1. 10円特別範囲設定 (SW101-1)

・特別側へ切り換えることにより、“精度アップモード2”に設定される。

2. 50円特別範囲設定 (SW101-2)

・特別側へ切り換えることにより、“精度アップモード2”に設定される。

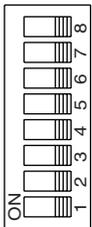
3. 100円特別範囲設定 (SW101-3)

・特別側へ切り換えることにより、“精度アップモード2”に設定される。

4. 500円特別範囲設定 (SW101-4)

・特別側へ切り換えることにより、“精度アップモード2”に設定される。

SW102



● 100円受付枚数 (エスコロ時) 設定 (SW102-7)

SW102-7をON側にすると6枚、OFF側にすると4枚に設定されます。

● 自動つり銭合わせモード設定 (SW102-6)

主制御側からの指示による自動つり銭合わせモードの切り換えを行う方法として、SW102-6を希望のモード側に設定することにより、チューブイン方式 (自動つり銭モード)、またはチューブ残量方式 (自動チューブ残量モード) として自動つり銭合わせが機能致します。

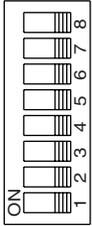
チューブイン側 (ON側) に設定時はチューブイン方式となり、残量側 (OFF側) に設定時はチューブ残量方式となります。

なお、残量側に設定時でも、主制御部側からチューブINを指示された場合は、チューブIN方式で動作します。

△注意 SW102-6によるつり銭合わせモードの設定は、電源が切れている状態で行って下さい。

電源投入後のモード切り換えは無効となります。

SW102



- 簡易つり銭合わせモード設定 (SW102-5)
簡易つり銭合わせ機能を使用する時は、SW102-5を簡易 (ON) 側に設定して下さい。
一方、SW102-5を自動 (OFF) 側に設定すると、主制御側からの指示に従ってつり銭管理が可能となります。
- ▲注意 SW102-5によるつり銭管理モードの設定は、電源が切れている状態で行って下さい。
電源投入後のモード切り換えは無効となります。
- 旧500円回収モード設定 (SW102-4)
SW102-4を有効 (ON) 側に設定すると、収金動作時、一時保留中の旧500円貨は常に金庫側に導きます。
なお、この機能は500円現物エスクロ機能有効時 (SW101-7 : ON) のみ動作します。
- 新/旧500円入金禁止モード設定 (SW102-1、3)
SW102-1をON側に切り替えることにより、旧500円貨のみを入金禁止にすることができます。
また、SW102-3を有効 (ON) 側に切り替えることにより、新/旧500円貨の両方を入金禁止にすることができます。
- 補助 (SUB) つり銭チューブの金種設定 (SW102-2)
1本の補助つり銭チューブ (SUB) は手動補給専用チューブで、10円または100円用に切り替えて使用できます。
10円または100円の金種切替えはスイッチで行い、SW102-2を10円 (OFF) 側に切替えれば10円、ON側に切替えれば100円となります。
- ▲注意
補助つり銭チューブを使用する場合は、SW102-2の金種設定と補給硬貨の金種が合っているか確認してご使用ください。
- 選別精度 SW101-1,2,3,4 の操作設定は P.18,19 参照願います。

■ご使用方法

取 付 け 方

- 自販機の電源が切れていることを確認の上、取付けを行ってください。

<p>1</p> <p>● ロックレバーを矢印①の方向に押し上げ、硬貨選別機を手前②に倒します。</p>	<p>2</p> <p>● 本体との接続コネクタを引き抜いて硬貨選別機を取り外してください。</p> <p>(硬貨選別機側のコネクタを外す)</p> <p>▲注意 電源 OFF 確認</p>	<p>3</p> <p>① 販売機の電源スイッチが“OFF”されていることを確認してください。</p> <p>② 8Pコネクタを販売機のコネクタと接続してください。</p>
---	--	---

■ つり銭硬貨の入れかた

カセットチューブ手動補給口より入れる場合

⚠ 注意

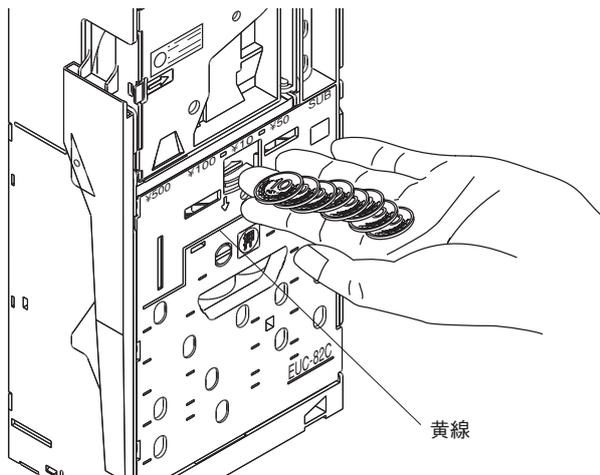
■ 黄線（つり銭補給上限）以上には硬貨を入れないでください。



つり銭を入れすぎると、硬貨選別部（硬貨選別機）での硬貨詰まりなどの不具合につながる恐れがあります。必ず確認してください。

⚠ 注意

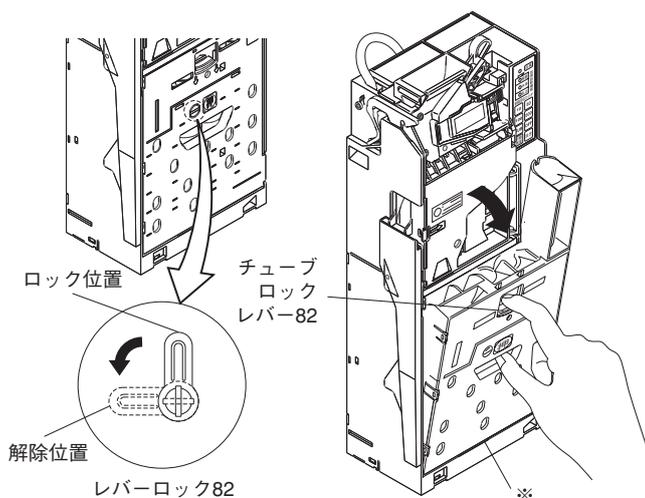
- 変形、キズのある硬貨を入れないでください。
- チューブ内で硬貨が立った場合は直してください。
- サブチューブには¥10-¥100の金種設定に合わせた硬貨を入れてください。



⚠ 注意

販売機主制御側で売上管理をしている場合は手動補給口から硬貨を補給しないでください。

カセットチューブを取外して入れる場合



手順1.

レバーロック82（白色）を左へ回してから青いチューブロックレバーを図のようにつまみ、手前に引いて取外します。

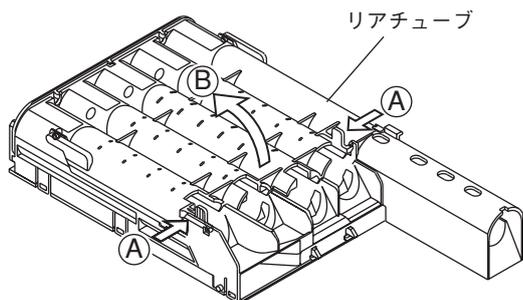
⚠ 注意

- インベントリースイッチ操作で払出し機構が動作中は、チューブの脱着は行わないでください。
- 補給後、インベントリー操作で必ず1枚以上払出して確認してください。

※ 取付けはチューブ下部、前面を合わせて、「カチッ」と音がするところまではめ込みチューブが完全にロックされていることを確認してください。

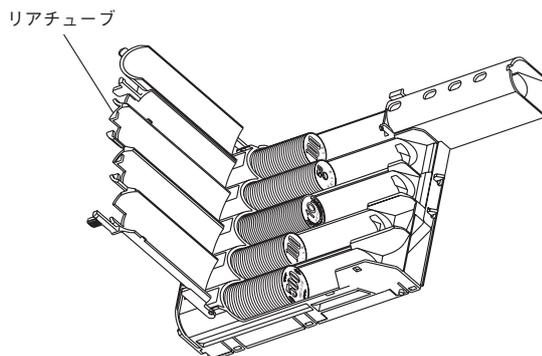
手順2.

チューブ上のツメ(A)を矢印側に押えて、矢印(B)の方向に引いてリアチューブを開きます。



手順3.

リアチューブを開いて、つり銭硬貨を補給してください。



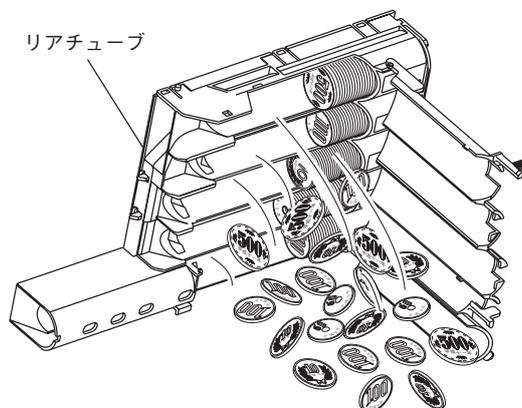
※ リアチューブを閉じるときは、「カチッ」と音がするまではめ込んでください。

■つり銭硬貨の回収のしかた

カセットチューブを外して回収する場合

※ カセットチューブの取外しかた、リアチューブの開閉については、P.13 (手順2) を参照願います。

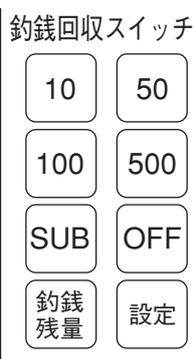
- カセットチューブのリアチューブを開き、硬貨を回収します。



インベントリースイッチで回収する場合

※ インベントリースイッチは金種別つり銭チューブごとに専用になっていますので、チューブ別単独操作で払出し動作ができます。

- 各チューブに対応したスイッチは1回押して指を離したときに払出し動作ができます。



⚠ 注意

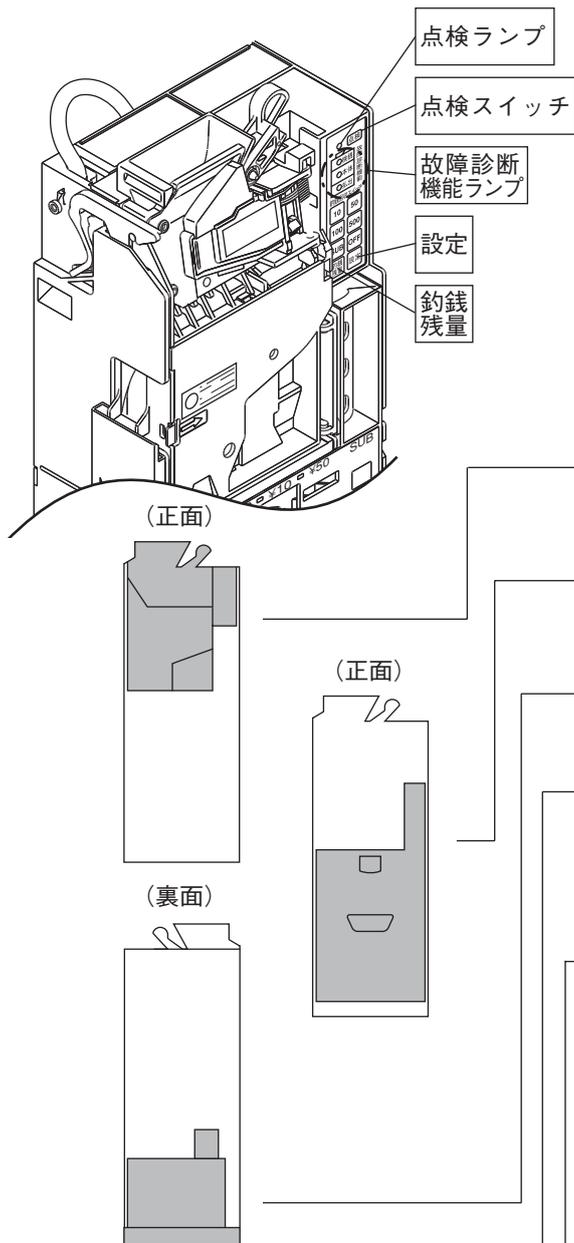
- スイッチを押しっぱなし (約 4 秒) にしたり、2 つ以上のスイッチを同時に押すと排出されません。
- インベントリースイッチで払出し動作中は、カセットチューブの取外しは行わないでください。

- 排出を途中で停止するときは、OFF スイッチを押してください。
- 1 つのチューブの排出が完了すると自動的に排出を停止します。

■販売テスト (全仕様共通)

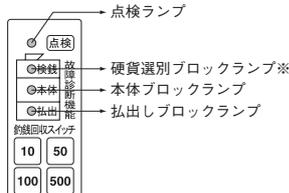
1. 販売機側の電源スイッチを入れてください。(ON する)
2. 10 円、50 円、100 円、500 円貨を各 1 枚ずつ投入してください。
 - 金額表示器に正しく表示されますか。
 - 販売機側の販売可ランプが点灯しますか。(商品が入っているとき)
3. 販売機側の返却レバーを操作してください。
 - 返却された硬貨は投入した硬貨と合っていますか。
4. 10 円、50 円、100 円、500 円貨を投入し、販売機側の販売ボタンを押してください。
 - おつりが正しく出てきましたか。(商品を取出してください)以上の各動作を一通り行い、異常がなければ準備 OK です。もしも異常がある場合は、このマニュアルを読み直してお確かめください。

故障診断機能およびつり銭回収スイッチ



故障診断機能ランプ

3 個のランプ (LED) の点灯/点滅/消灯で下表の故障状態を示しています。



※硬貨選別ブロックのランプは選別精度アップ機能の設定機能ランプと兼用しています。(P.18～19 参照)

	点灯 (正常)	※点滅 (現地修理可)	消灯 (現地修理不可)
硬貨選別ブロックランプ	動作可能状態	硬貨選別機の汚れ 振り分け部の 硬貨詰まり	選別センサ断線 ストローブセンサ断線
本体ブロックランプ	動作可能状態	カセットチューブ未装着 (装着不完全)	チューブ満杯検知異常
払出しブロックランプ	動作可能状態	払出し部の硬貨詰まり	・ 払出し機構故障 ・ つり銭切れセンサ断線 (MTセンサ断線)

点検スイッチ

- 点検スイッチを1秒以上押し続けると点検ランプが消灯します。(P.15 参照)

つり銭回収スイッチ

- カセットチューブの金種と同じスイッチを押すと、そのチューブの払出し動作となります。OFF を押すと停止します。

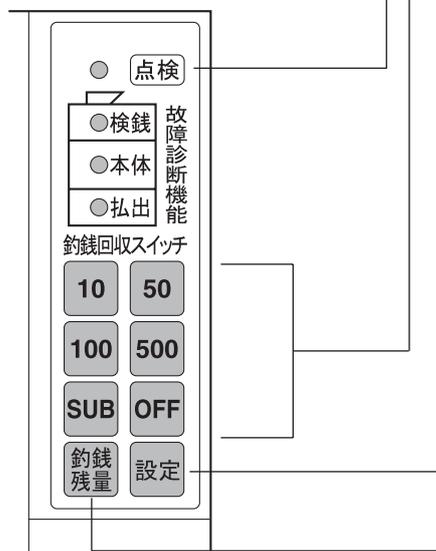
設定スイッチ

⇒ 詳細は P.6

- スイッチを1秒以上押すことにより、簡易つり銭合わせが設定されます。(故障診断機能ランプ、本体ブロックランプが一端消灯すると設定が有効になります)
- **△ 注意**
設定後、停電ならびに電源 OFF/ON 操作を行うと設定は解除されます。(設定有効確認は設定スイッチのチョン押しで本体ブロックのランプが5秒間点滅)

つり銭合わせスイッチ

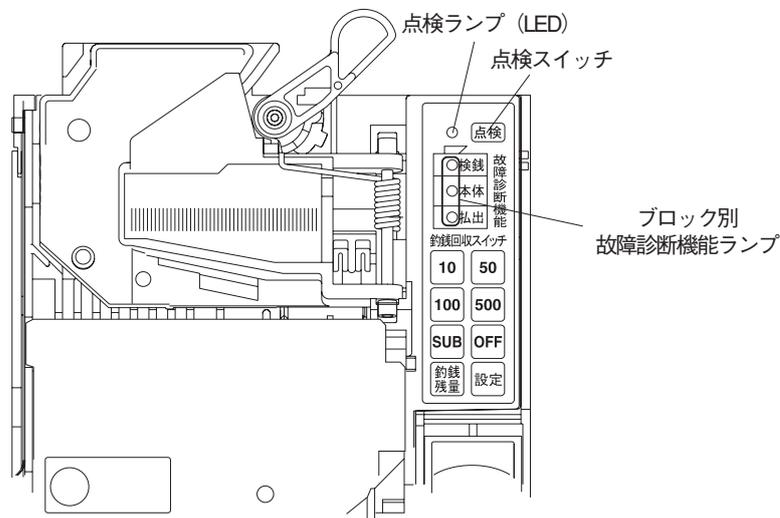
- スイッチを1秒以上押すことにより自動つり銭合わせ動作となり、つり銭増加分の払出しを行います。
- コインメック単独で設定以降チューブ内にて増加した枚数分の硬貨を払出し動作します。(P.6)



設定操作

■拡張コマンド対応品 (付加機能)

- EUC82C42 シリーズ (EUCV8202 □□ 硬貨選別機搭載品) には、点検スイッチと点検ランプが付加されています。EUC82C42 シリーズの点検スイッチと点検ランプは販売機側 (主制御側) により制御されています。拡張コマンドは、自販機によっては使用していない場合がありますので、点検ランプ/点検スイッチ機能は動作しない場合があります。点検ランプが点灯した場合は、販売機の取扱説明書に基づいてコインメックを点検します。
- 点検スイッチを1秒間押し続けると、点検ランプを消灯します。



点検ランプ点灯条件変更品 (硬貨受付率低下の検知機能付加)

- EUC82C43 シリーズ (EUCV8203 □□ 硬貨選別機搭載品) より、点検スイッチと点検ランプの制御は販売機側 (主制御側) とコインメック双方より制御しています。

点検ランプの点灯と、故障診断ランプの点灯/点滅/消灯状態について

- ブロック別の故障診断機能ランプ、何れかの消灯/点滅、と併せて点検ランプが点灯する場合は販売機側制御で、点検ランプを点灯しています。(販売機の取扱説明書に基づいてコインメックを点検します。)
- ブロック別の故障診断機能ランプ (硬貨選別・本体・払出し) が、3ブロック共に点灯 (動作可能状態) し、さらに点検ランプも併せて点灯した場合はコインメック単独で、点検ランプを点灯しています。

硬貨選別機の硬貨通路汚れなどにより、硬貨の受付率が低下した場合はコインメック単独で点検ランプを点灯します。

点検ランプ/故障診断ランプが上記bの状態を確認された場合は硬貨選別機の硬貨選別通路を清掃してください。(P.23 参照) 清掃後、各硬貨の受付率が改善されない場合は硬貨データの調整 (再設定) を行います。(P.21 参照)

- 点検終了後 a./b 何れの場合も、点検スイッチを1秒間押し続けると、点検ランプを消灯します。
- 互換性について
 - 硬貨選別機 (V8201 / V8202 / V8203) には互換性がありますが、点検スイッチ・点検ランプは V8202 / V8203 硬貨選別機に付加されています。点検スイッチ・点検ランプ使用可能販売機には、V8202 / V8203 硬貨選別機を使用することをお勧めします。
 - 仕様区分として、YE / YF タイプがあります。必ず本体と硬貨選別機の仕様を合わせてください。

本 体 部	硬 貨 選 別 機	備 考
EUC82C41YE1 EUC82C42YE3 EUC82C43YE1	V8201YE / V8202YE / V8203YE が使用可能	
EUC82C41YF1 EUC82C42YF3 EUC82C43YF1	V8201YF / V8202YF / V8203YF が使用可能	
EUC82C41YE1G EUC82C42YE3G EUC82C43YE1G	V8201YG / V8202YG / V8203YG が使用可能	
EUC82C44YFBF EUC82C44YKGB	V8204YFBF / V8204YKGB が使用可能	2009年仕様

点検マニュアル

8 2 コインメック

電源に関して

- 全ての硬貨を全く受け入れない、インベントリスイッチを操作しても払出し機構が動作しない等、全ての動作が行われない場合は、販売機のブレーカーがONになっているか、ACコンセントにAC100Vが供給されているか確認してください。

点検ランプ (点検ランプの点灯… P.15参照)

故障診断機能ランプ (P.14 参照)

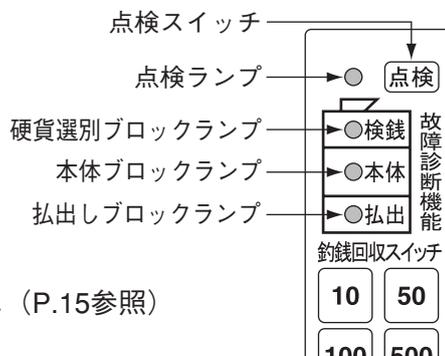
- 3個のLEDランプの点灯/点滅/消灯で故障状態を表します。

LEDランプの状態

- 点灯→動作可能状態 ※1
- 点滅→現地修理可能 ※2
- 消灯→現地修理不可能

※1 故障診断ランプと併せて、点検ランプも点灯している場合は (P.15参照)

※2 下記早見表にて、コインメック各部件の取付状態など点検。



故障診断の手引き (故障症状・故障箇所早見表)

- 下記表の主な症状に該当する状況が確認されたら、故障箇所の特定としてコインメックの部品取付状態と硬貨通路に異物(粘着物含む)などの汚れ付着の有無をチェックします。
- この診断書には部品交換時に於ける組立不良、及び電気回路部品による不良現象は含んでいません。

No.	点検箇所 ◎:もっとも可能性のあるもの ○:可能性のあるもの △:可能性のすくないもの	コインメック										販売機 バンドメカ/ (主制御など)	サービスマニュアル参照ページ	
		硬貨選別機					本体	払出し						
		識別通路/セパレーター 82 取付け	第1ゲート板 72	第3ゲート 82	第4ゲート 82	オーバーフローゲート 82	設定スイッチ抑止機能/特別範囲	SUBチューブ金種設定スイッチ	カセットチューブ/ワイドスライダ 82	カセットチューブ装着状態	ストッパスライダ 82/プレート 82			メインスライダ 82/レバップシヤ 82
1	全く硬貨を受け付けない	○					△			○			○	9、10、23
2	硬貨の受付が悪い/特定硬貨の受付が悪い ※3	◎					○							9、10、23、18~20
3	受け付けた硬貨が所定のチューブに入らない		○	○	○	△								24~26
4	硬貨選別機、硬貨詰まり	○	○	○	○	○								24~26
5	硬貨選別機でのオーバーフローが機能しない					◎		○						24、25
6	カセットチューブつり銭硬貨が満杯なのにキャッシュボックスに入らない					△		◎						24、27
7	つり銭を、払い出さない							○		◎	○			27、30
8	つり銭が合わない(つり銭が不足する/つり銭が多く出る)		△	△	△		○				◎			9、28~30
9	インベントリスイッチ操作しても払出し機構が動作しない									○	○			28~30
10	硬貨は受け付けるが、商品販売しない	△	△										○	23、24

※3 硬貨選別機の選別精度スイッチ設定の確認(P.18~P.19参照)/硬貨データの再設定については(P.21~P.22)参照
選別精度スイッチをoffにしても2の症状が直らない場合は、抑止機能スイッチ(P.10)の設定状態の確認をします。

■故障コード

- コインメックから送信される異常データは、以下のエラーコード処理*を行い、販売機パネルのデジタル数字表示器に表示されます。E-□□
- 統一コードを使用しないでオリジナルエラーコードを使用している自販機の場合は、販売機の取扱説明書などに記載されている故障番号を確認し記入してください。
- EUC82 コインメックで使用しているエラーは統一コードの □□ 部になります。

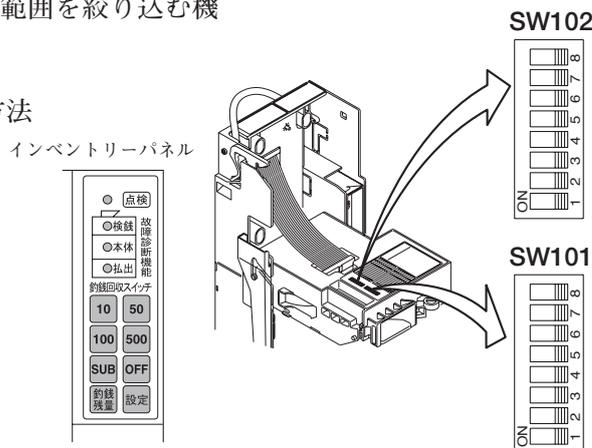
オリジナルコード	統一コード	故障の内容	確認及び処置のしかた
	10	コインメックの通信異常	<ul style="list-style-type: none"> ● 通信回路に関する故障です。販売機との接続コネクタ部などを点検してください。 ● コインメック本体と硬貨選別機の接続コネクタを点検してください。
	11	10円コイン信号開放し	<ul style="list-style-type: none"> ● 硬貨が詰まっている可能性がありますので硬貨選別機を外し、点検してください。 ● 詰まっていなければ修理依頼してください。
	12	50円コイン信号開放し	
	13	100円コイン信号開放し	
	14	500円コイン信号開放し	
	15	返却スイッチ異常	
	16	つり銭払い出し不良	<ul style="list-style-type: none"> ● つり銭が払出し部で詰まっていないか点検してください。
	17	セーフティスイッチ異常	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットチューブが確実にセットされているか点検してください。装着不十分であればセットし直してください。
	18	つり銭部払出し異常	<ul style="list-style-type: none"> ● つり銭が払い出し部で詰まっていないか点検し、詰まっていれば取り除いてください。
	19	硬貨選別機（アクセプタ）異常	<ul style="list-style-type: none"> ● 硬貨選別機が正常に装着されていない場合や、硬貨選別機になんらかの異常（コイン詰まりなど）が発生した可能性がありますので確認してください。
	20	10円エンプティスイッチ異常	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットチューブ内につり銭が十分あるのにつり銭切れになっています。つり銭チューブ内で硬貨が立ったり、ブリッジしていないか確認してください。 ● 硬貨が詰まっていなければ本体制御基板及び払出し機構部のつり銭センサーならびにコインメック本体制御回路の故障が考えられます。
	21	50円エンプティスイッチ異常	
	22	100円エンプティスイッチ異常	
	23	500円エンプティスイッチ異常	
	24	金庫満杯信号開放し	<ul style="list-style-type: none"> ● コインメック本体のオーバーフロー通路下部に硬貨が詰っていないか確認してください。 ● 併せて販売機キャッシュボックスにお金が満杯になっていないか確認してください。
	25	10円キャッシュ/オーバーフロー信号開放し	<ul style="list-style-type: none"> ● コインメック本体のオーバーフロー通路（センサー部）に硬貨が詰まっていないか確認してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. コインチューブ内側のオーバーフローレバー付近に硬貨が詰まっていないか確認してください。 2. カセットチューブを外しコインメック本体のオーバーフローレバーを指で押し、復帰動作（スムーズに動作）するか確認します。 3. 硬貨が詰まっていれば、取り除いてください。
	26	50円キャッシュ/オーバーフロー信号開放し	
	27	100円キャッシュ/オーバーフロー信号開放し	
	28	500円キャッシュ/オーバーフロー信号開放し	

- 上記エラーコードは、コインメックに異常のある場合を仮定した表示例です。

■特別範囲の設定機能（選別精度アップモード）

概要

- 偽貨排除を優先するために、現場にて一時的に正硬貨の受入範囲を絞り込む機能です。
- 範囲設定には、次の3通りの方法があります。
 - A 選別精度スイッチの切り替えだけで特別範囲2に設定する方法
(簡易的な特別範囲設定)
 - B 各金種毎に入金禁止を含めて4段階に設定できる方法
 - C インベントリーパネルのOFFスイッチの操作と選別精度のスイッチ操作で入金禁止に設定する方法
(簡易的な入金禁止設定)



A 簡易的な特別範囲設定、解除方法

- 操作はすべて、自販機の電源をONしたままで行います。

〈設定方法〉SW101-1～4

- ① コインメック本体左上のロックレバーを押し上げ、硬貨選別機を手前に倒します。
- ② 硬貨選別機裏側の選別精度スイッチをON側に切り替えます。切り替えた金種が特別2になります。(P. 10 参照)
- ③ ロックが掛かるまで硬貨選別機を起こし本体にセットします。

〈解除方法〉

- ① コインメック本体左上のロックレバーを押し上げ、硬貨選別機を手前に倒します。
- ② 硬貨選別機裏側の選別精度スイッチをOFF側に切り替えます。
- ③ ロックが掛かるまで硬貨選別機を起こし本体にセットします。

【範囲設定スイッチの位置と範囲の関係】

範囲設定 スイッチ	範囲	金種				設定時の 投入枚数	範囲表示 (点減回数)
		10円 SW101-1	50円 SW101-2	100円 SW101-3	500円 SW101-4		
OFF側 (通常)	通常	●	●	●	●	—	1回
	特別1	—	—	—	—	—	—
	特別2	—	—	—	—	—	—
	特別3	—	—	—	—	—	—
	入金禁止	—	—	—	—	—	—
ON側 (アップ)	通常	—	—	—	—	—	—
	特別1	○	○	○	○	1枚	2回
	特別2	◎	◎	◎	◎	2枚	3回
	特別3	○	○	○	○	3枚	4回
	入金禁止	○	○	○	○	4枚	5回

- 「●」は固定の設定で、「—」の範囲には設定できません。
- 「◎」は出荷時の設定で、「○」のいずれかに設定可能です。
ただし、スイッチを切り替えると、その金種は特別2に戻ります。
- 新旧の500円は共通で、個別には設定できません。
- 各段階での正貨の受付率の目安は、以下の通りです。
特別1：平均90%以上、特別2：平均80%以上、特別3：平均70%以上

- 範囲表示LEDの表示例（故障診断ランプの硬貨選別機を点滅して表示します）←
(範囲の設定中に特別2の場合、点線は電源投入後や範囲設定後の場合)



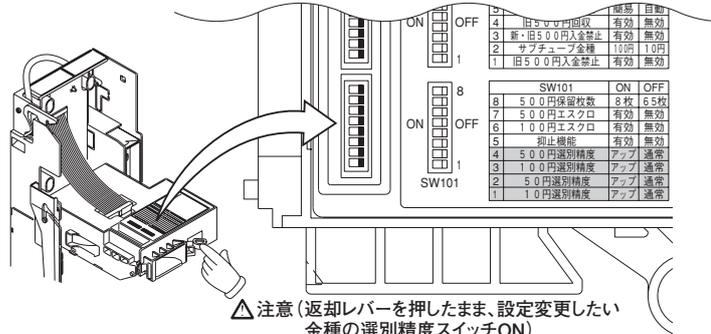
- 範囲表示 (点減回数)
通常：1回、特別1：2回、特別2：3回、特別3：4回、入金禁止：5回

B 範囲の設定 (4段階)、確認方法

- 操作はすべて、自販機の電源をONしたままで行います。

〈設定方法〉

- ① コインメック本体左上のロックレバーを押し上げ、硬貨選別機を手前に倒します。
- ②-1 返却レバーを押したままで、設定を変更したい金種の選別精度スイッチがすでにON側であれば、一旦OFF(通常)側に切り替えます。
- ②-2 設定を変更したい金種の選別精度スイッチをON(アップ)側に切り替えた後、返却レバーを戻します。

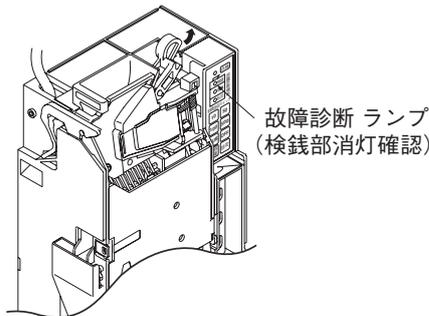


△注意(返却レバーを押したまま、設定変更したい金種の選別精度スイッチON)

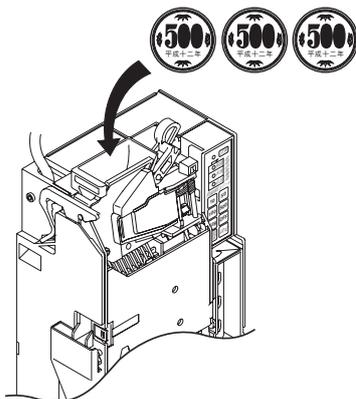
- ③ ロックが掛かるまで硬貨選別機を起し本体にセットして、故障診断ランプの硬貨選別機が消灯し、設定変更モードに入ったことを確認します。

△注意

硬貨選別機を本体にセットする際は、返却レバーに触れないようにしてください。誤って返却レバーに触れると設定変更モードから離脱し、待機状態に戻ります。



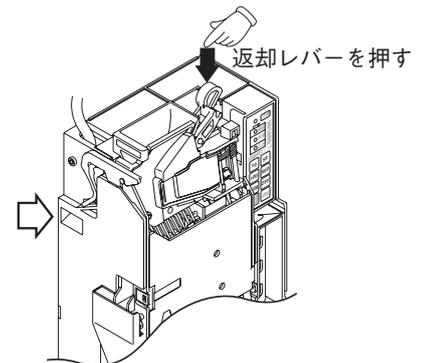
- ④ 特別範囲や入金禁止に設定したい金種の硬貨を、必要枚数投入します。(投入枚数は表を参照下さい)。



(500円特別3の例)

特別範囲	設定に必要な硬貨枚数
特別 1	1 枚
特別 2	2 枚
特別 3	3 枚
入金禁止	4 枚

全金種共に設定に必要な硬貨枚数は同様です。



- ⑤ 返却レバーを再度押し下げ、設定変更モードから離脱し、待機状態に戻ります。

- 設定した範囲は、再設定を行わない限り、電源を切っても記憶しています。ただし、通常の入金モードにてスイッチを切り替えると、その金種は特別2に戻ります。(一旦、通常→アップ)
- ②でスイッチを切り替えなかった金種は受け付けず、設定を変更できません。またスイッチを切り替えて1枚も投入しなかった金種の設定は変更されません。
- 設定中に投入した硬貨は自販機に金額表示されません。硬貨はつり銭チューブに収納されますので、本体右上のインベントリースイッチで払い出してください。

〈確認方法〉

- 範囲の設定中(③から⑤の間)は、インベントリーパネルの金種スイッチを押して放すと、その金種のその時点での範囲を、故障診断ランプの検銭部を点滅して表示します。
- 電源投入後や範囲設定後(3通りの方法いずれの場合でも)に、各金種の1枚目が投入されると、その金種の範囲を故障診断ランプの検銭部を点滅して表示します。

C 簡易的な入金禁止設定、解除、確認方法

500円貨はディップスイッチ設定でも入金禁止設定が可能です

旧500円	ディップスイッチ(SW102-1)ON
旧500円/新500円	ディップスイッチ(SW102-3)ON

- 操作はすべて、自販機の電源をONしたままで行います。

⚠ 注意 設定変更に入る前に、入金禁止設定したい金種の選別精度スイッチがONの場合はOFFに切り替えておきます。

〈設定方法〉

- ① インベントリーパネルのOFFスイッチを5秒以上押し続け、故障診断ランプの硬貨選別機が高速点滅を始めた（設定変更モードに入ったことをお知らせ）後、スイッチを放します。（P.14参照）
- ② コインメック本体左上のロックレバーを押し上げ、硬貨選別機を手前に倒します。
（**⚠ 注意** 返却レバーに触れないこと）
- ③-1 入金禁止に設定したい金種の選別精度スイッチがすでにON側であれば、一旦OFF側に切り替えます。
- ③-2 入金禁止に設定したい金種の選別精度スイッチ（SW101、1～4任意）をON（アップ）側に切り替えます。切り替えた金種すべてが入金禁止になります。
- ④ ロックが掛かるまで硬貨選別機を起こし本体にセットします。
- ⑤ 返却レバーを再度押し下げ、設定モードから離脱し、待機状態に戻します。

〈解除方法〉

- ① コインメック本体左上のロックレバーを押し上げ、硬貨選別機を手前に倒します。
- ② 硬貨選別機裏側の選別精度スイッチをOFF側に切り替えます。
- ③ ロックが掛かるまで硬貨選別機を起こし本体にセットします。

〈確認方法〉

- 電源投入時に、1金種でも入金禁止に設定されていると、故障診断ランプの検銭部を2秒間高速点滅して表示します。（P.14参照）
- 電源投入後は、入金禁止に設定した金種が投入されると、故障診断ランプの検銭部を一瞬消灯して表示します。

■硬貨データの調整（書換再設定）方法

● 概 要

10円貨、50円貨、100円貨、旧500円貨、新500円貨、いずれかの硬貨の受入率が低下した場合（コイン流れ）、硬貨選別機左側面のスイッチを通常から→書換に切り換えることにより現場で簡単に硬貨データを再設定し、調整する方法です。

硬貨データ再調整用の硬貨

10円硬貨 6枚



50円硬貨 6枚



100円硬貨 6枚



旧500円硬貨 4枚



新500円硬貨 4枚



● 調整用の各硬貨は、販売機の中にある硬貨をそのまま使用できます。

ご注意

- 投入する硬貨はあまり古くないもので、外形に異常（キズ、曲り、汚れ）のない硬貨を選んでください。
- 必ず規定枚数各6枚（500円は4枚）使用してください。同じ硬貨（1枚）をくり返し使用しないでください。

調整用スイッチの切替

① 硬貨選別機の硬貨通路を清掃します。

ご注意とお願い

- 汚れの拭き取りには、柔らかい布などを使用してください。
- 汚れがひどい場合は、水・ぬるま湯を含ませた布で拭き取ってください。
- 化学洗剤や薬品などは、機器の性能に支障を来す恐れがありますので使用をおさげください。

② 販売機の電源をONにしたまま、硬貨選別機左側のスイッチ（SW103）を通常から書換に切り換えます。

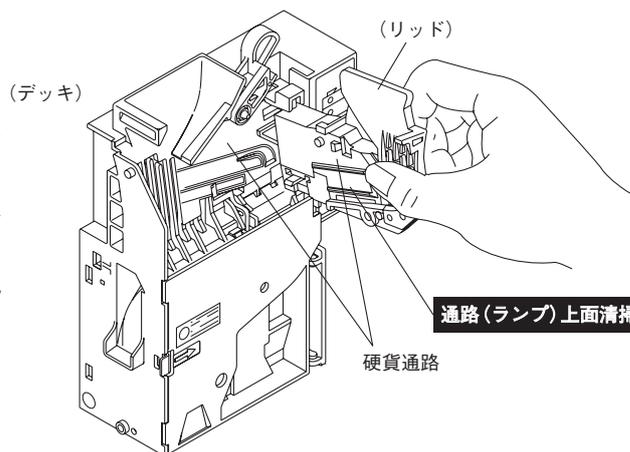
③ 硬貨選別機をコインメック本体にセットします。

- これで調整の準備ができました。

⚠ 注意

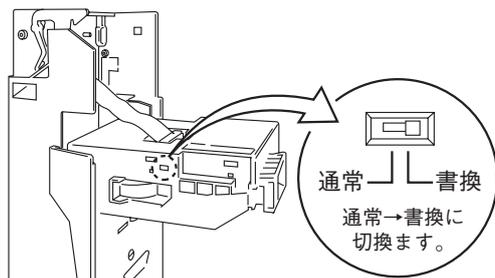
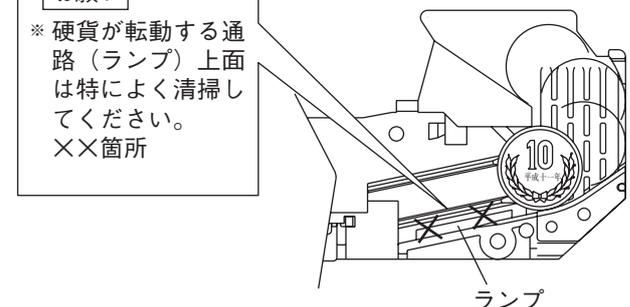
硬貨選別機を本体にセットする際は、返却レバーには触れないようにしてください。

硬貨データのインプットを始める前に誤って返却レバーに触れると、硬貨データのインプットが正しくできません。



お願い

※ 硬貨が転動する通路（ランプ）上面は特によく清掃してください。
××箇所



硬貨データのインプット (再設定)

手順：準備した硬貨を投入し各硬貨のデータをインプットします。

硬貨を投入する順番は **10円** ⇨ **50円** ⇨ **100円** ⇨ **旧500円** ⇨ **新500円** の順に行います。

△注意

- 順番をまちがえると正常にインプットできませんので、特に注意してください。
- 返却レバーは必ず投入金種毎に1回だけ押してください。調整中に操作をまちがえた場合は販売機の電源を一旦OFFした後、再度ONして、10円硬貨からやり直してください。
- 各硬貨の投入枚数は、規定の枚数以下の場合は返却レバーを操作してもデータは、インプットされません。

- ① 最初に**10円**硬貨を**6枚**投入します。金額表示器に**60**と表示されていることを確認します。



返却レバーを1回だけ押します。
(投入した硬貨が返却されます)



- ② 次に**50円**硬貨を**6枚**投入します。金額表示器に**300**と表示されていることを確認します。



返却レバーを1回だけ押します。
(投入した硬貨が返却されます)



- ③ 次に**100円**硬貨を**6枚**投入します。金額表示器に**600**と表示されていることを確認します。



返却レバーを1回だけ押します。
(投入した硬貨が返却されます)



- ④ 次に**旧500円**硬貨を**4枚**投入します。金額表示器に**2000**と表示されていることを確認します。



返却レバーを1回だけ押します。
(投入した硬貨が返却されます)



- ⑤ 次に**新500円**硬貨を**4枚**投入します。金額表示器に**2000**と表示されていることを確認します。



返却レバーを1回だけ押します。
(投入した硬貨が返却されます)



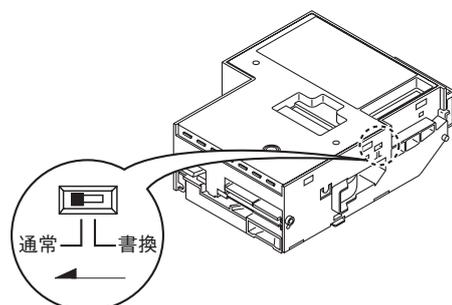
これで各硬貨のデータインプットが完了です。

- ⑥ 切換スイッチを書換から通常に戻します。

△注意 調整スイッチは確実に通常に戻してください。

- ⑦ 硬貨の投入テストを行い次の項目を確認します。

- 投入した金種と表示額が正しく表示されているか。
- 投入した金種がそれぞれのつり銭チューブに正しく入るか。
- 返却レバーを押して返却された金種と金額は正しいか。

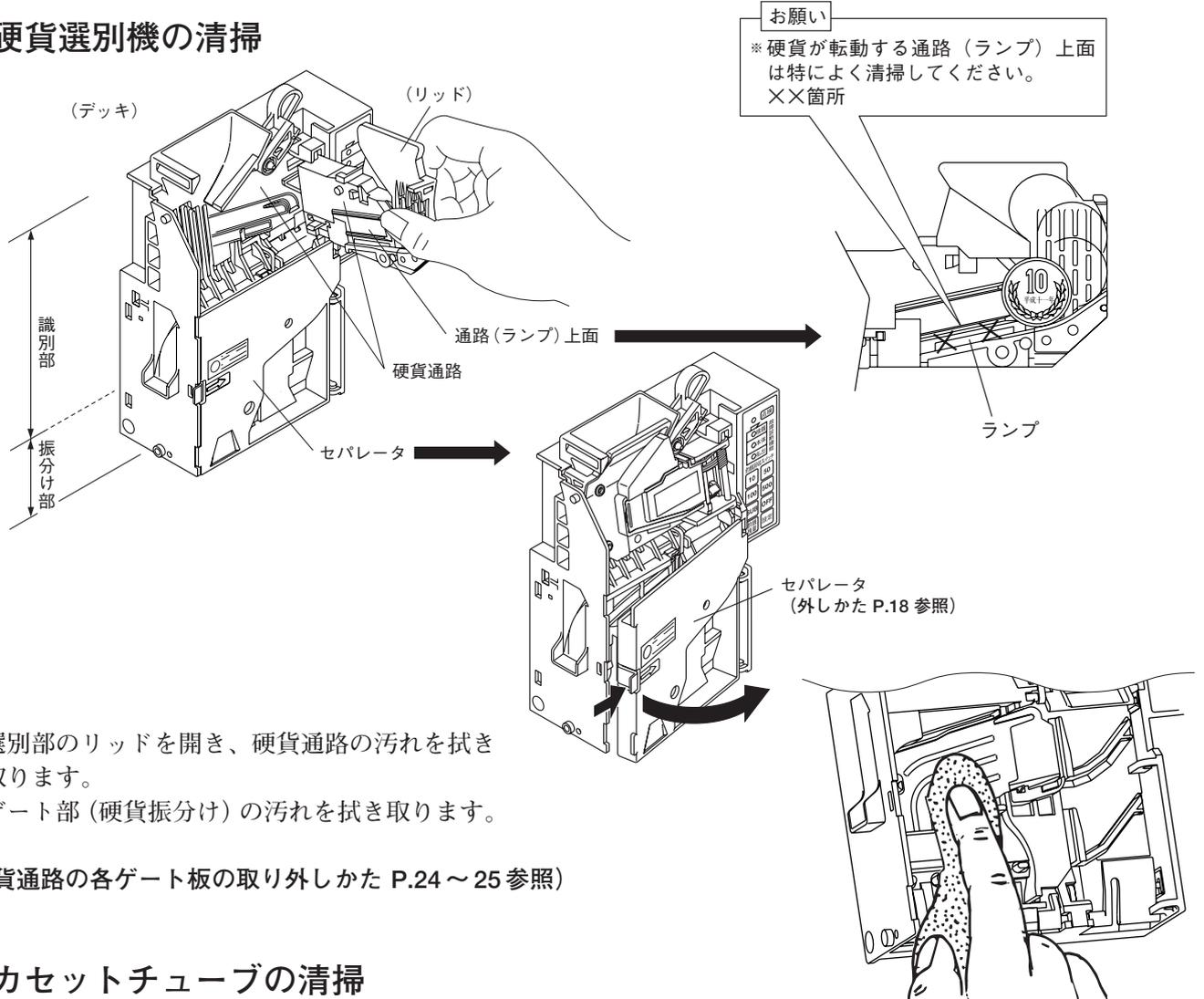


■簡単なお手入れ

- コインメックは、ホコリ、チリ、ゴミなどの異物付着、水ヌレなどで汚れてきます。汚れがひどくなると規定の選別、払出し性能が維持できなくなります。販売機の構造、設置状況により異なりますが1～3ヶ月に1度、使用状況に合わせて清掃してください。
- 汚れが取りにくいときはアルコールをつけて拭き取ってください。

△注意 シンナー、ベンジンなど揮発性のものは絶対に使用しないでください。

●硬貨選別機の清掃

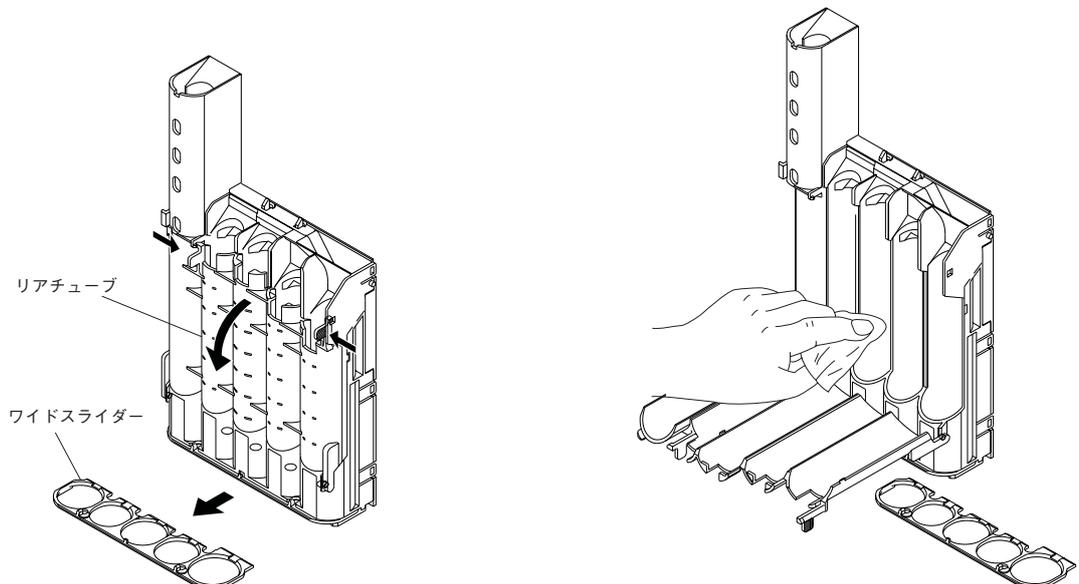


- 選別部のリッドを開き、硬貨通路の汚れを拭き取ります。
- ゲート部(硬貨振分け)の汚れを拭き取ります。

(硬貨通路の各ゲート板の取り外しかた P.24～25 参照)

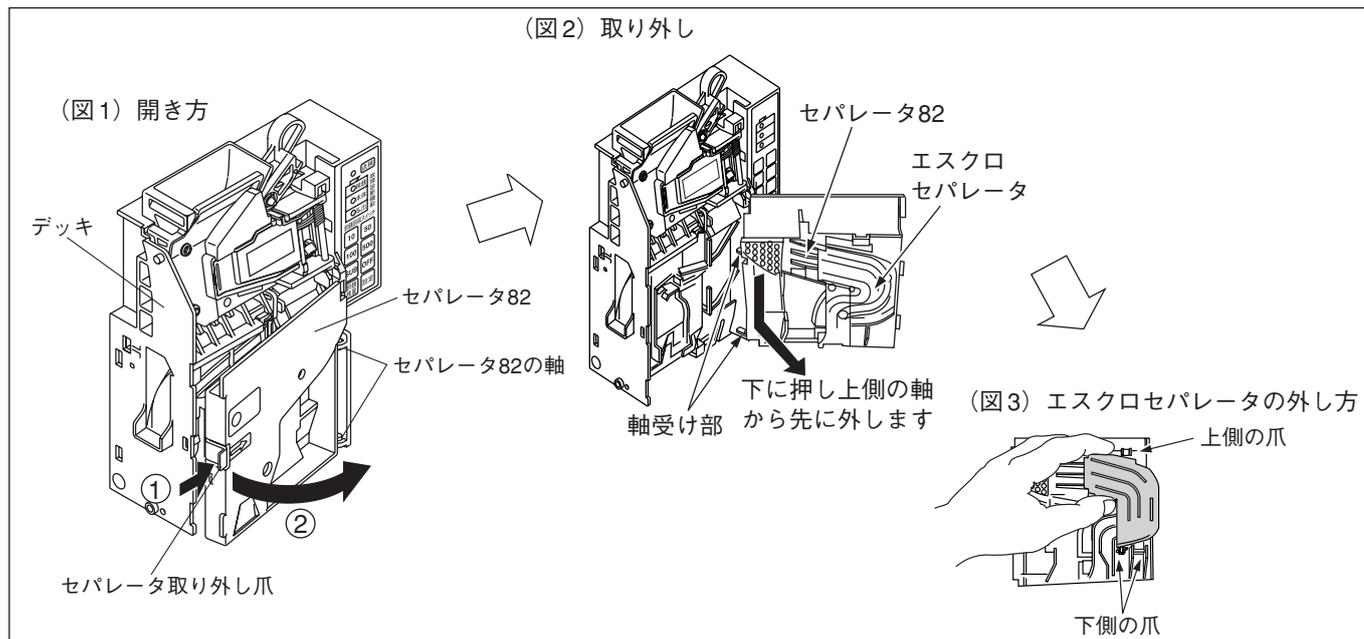
●カセットチューブの清掃

- カセットチューブを外し、チューブ内側とワイドスライダの汚れを拭き取ります。(外しかた P.27 参照)



■硬貨選別機の分解と組立

1. セパレータ 82 / (エスクロセパレータ)



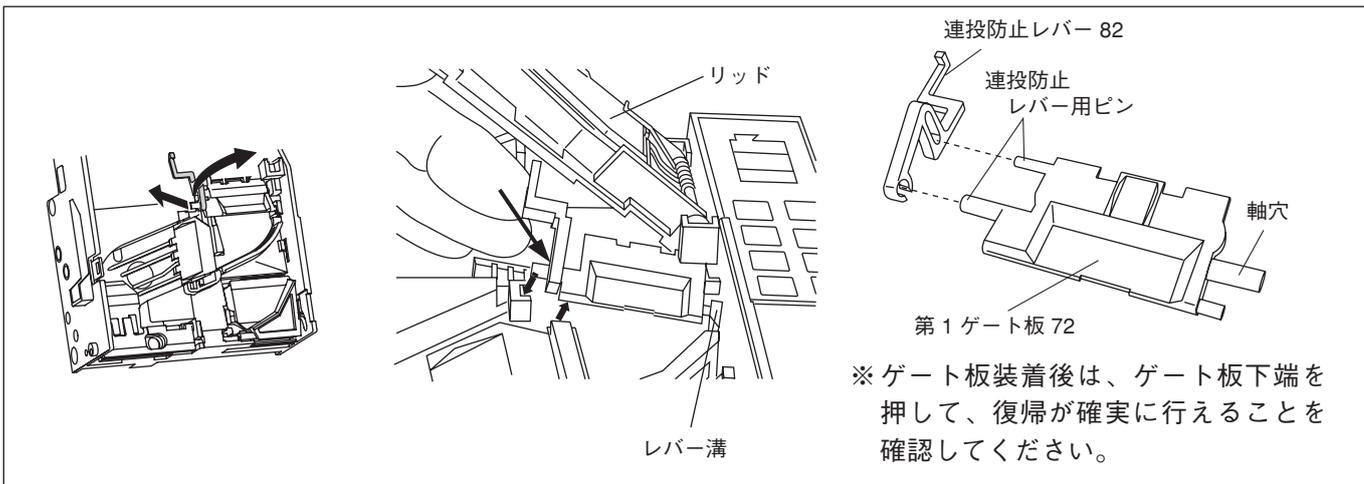
分解

- デッキ左側面の取外し爪を矢印①②方向(➡)に押し、セパレータ82の左側から手前に開きます。(図1)
- セパレータ82を下向きに押しながらデッキの軸受けから取外します。(図2)
- エスクロセパレータ上側の爪を下方に押し取外します。(図3)

組立

- エスクロセパレータ下側の爪を先にはめ込み、上側の爪を「カチッ」と音がするまで確実にはめ込みます。
- セパレータ82下側の軸を先にはめ込み全体を下向きに押しながら上側の軸をはめ込み、左側の爪を押込みます。

2. 第1ゲート板、連投防止レバー 82



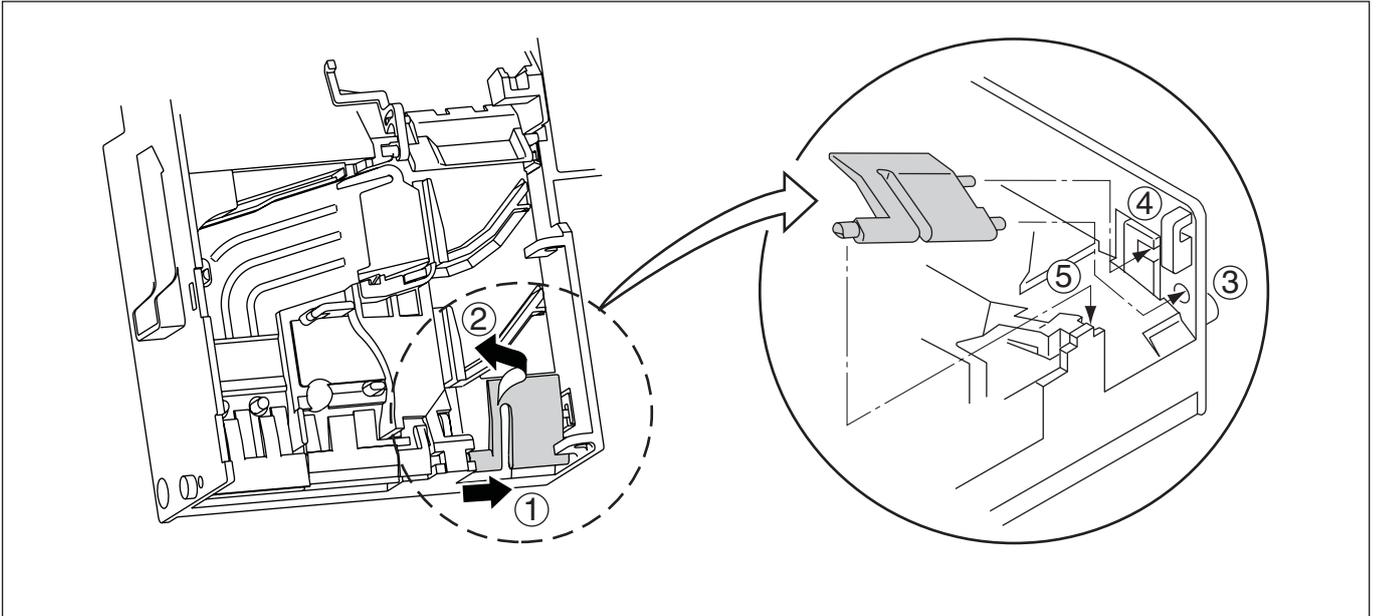
分解

- リッドを開きながらゲート板の下端を押し、連投防止レバーの上端を手前に引き上げます。
- 連投防止レバーを手前に引き上げたまま、ゲート板の左軸を外し左側へ引いて取り出します。

組立

- 連投防止レバー 2ヶ所の軸穴にゲート板の左側の軸をはめ込みます。
- ゲート板右側の軸を先にはめ込み、左側の軸を取り付けます。

3. オーバーフローゲート 82

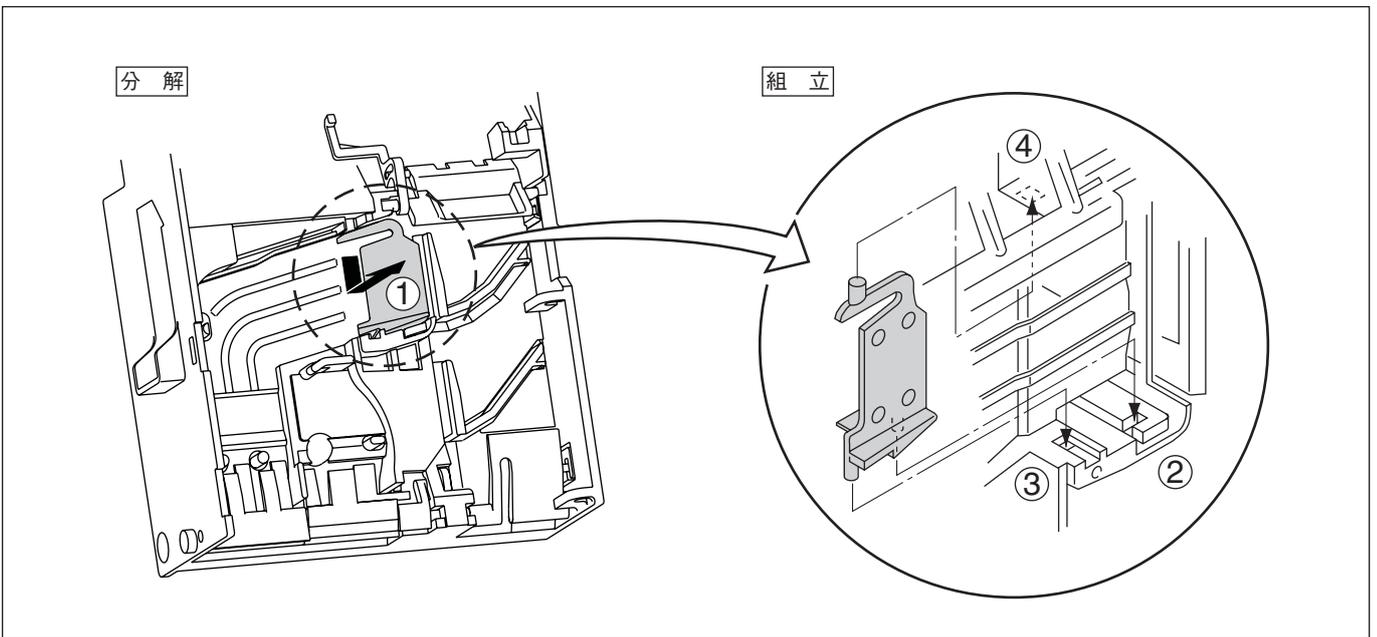


● オーバーフローゲート 82は、黒矢印の①、②、の順に取外します。



● 矢印の③、④、⑤、の順に組み立てます。③ ④ 先に右下の軸を先にはめ込み次に、⑤ 矢印方向に押し付けて取り付けます。

4. 第4ゲート 82



分解

組立

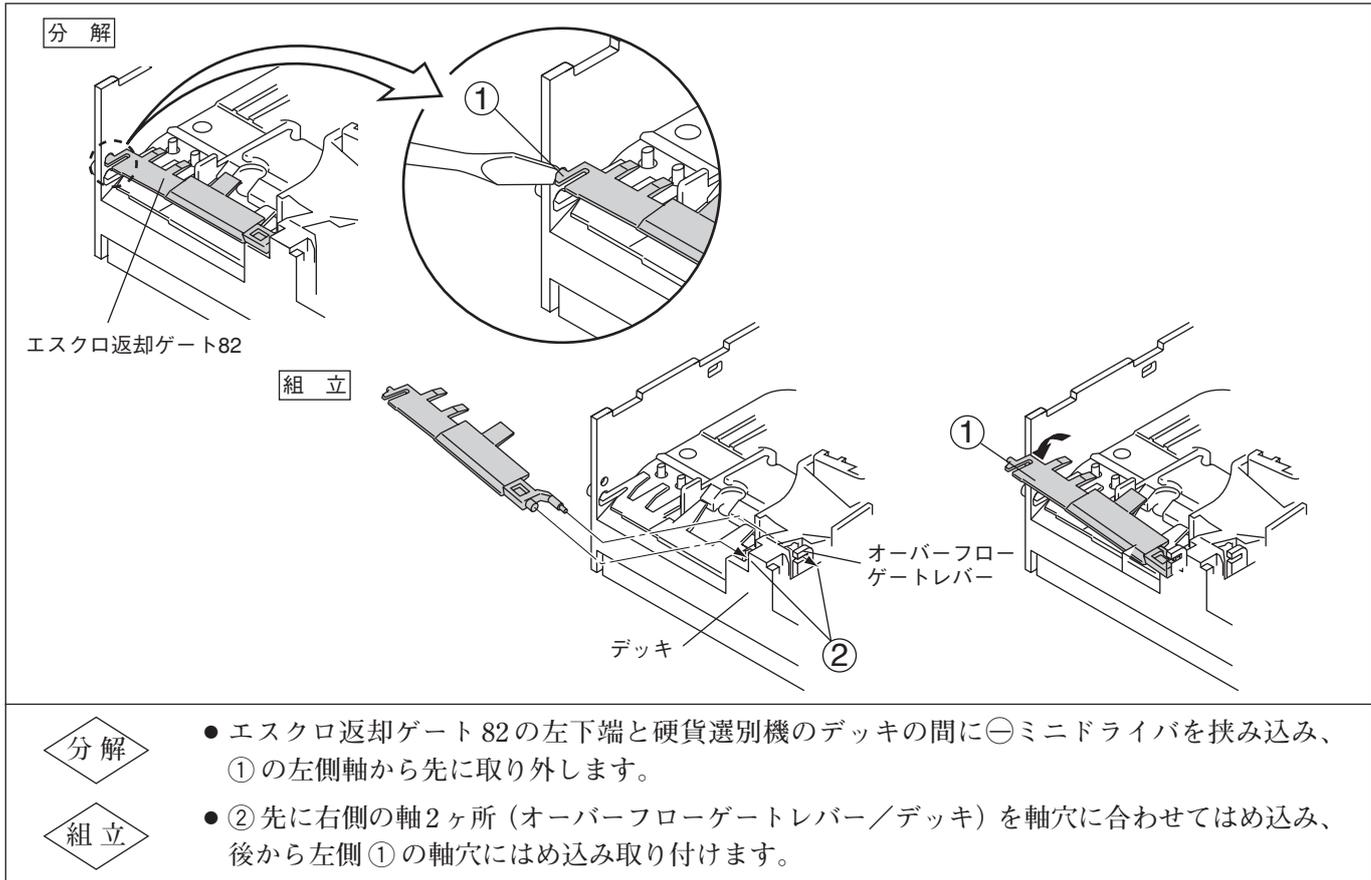


● 矢印①の方向に第4ゲート 82を取り外します。

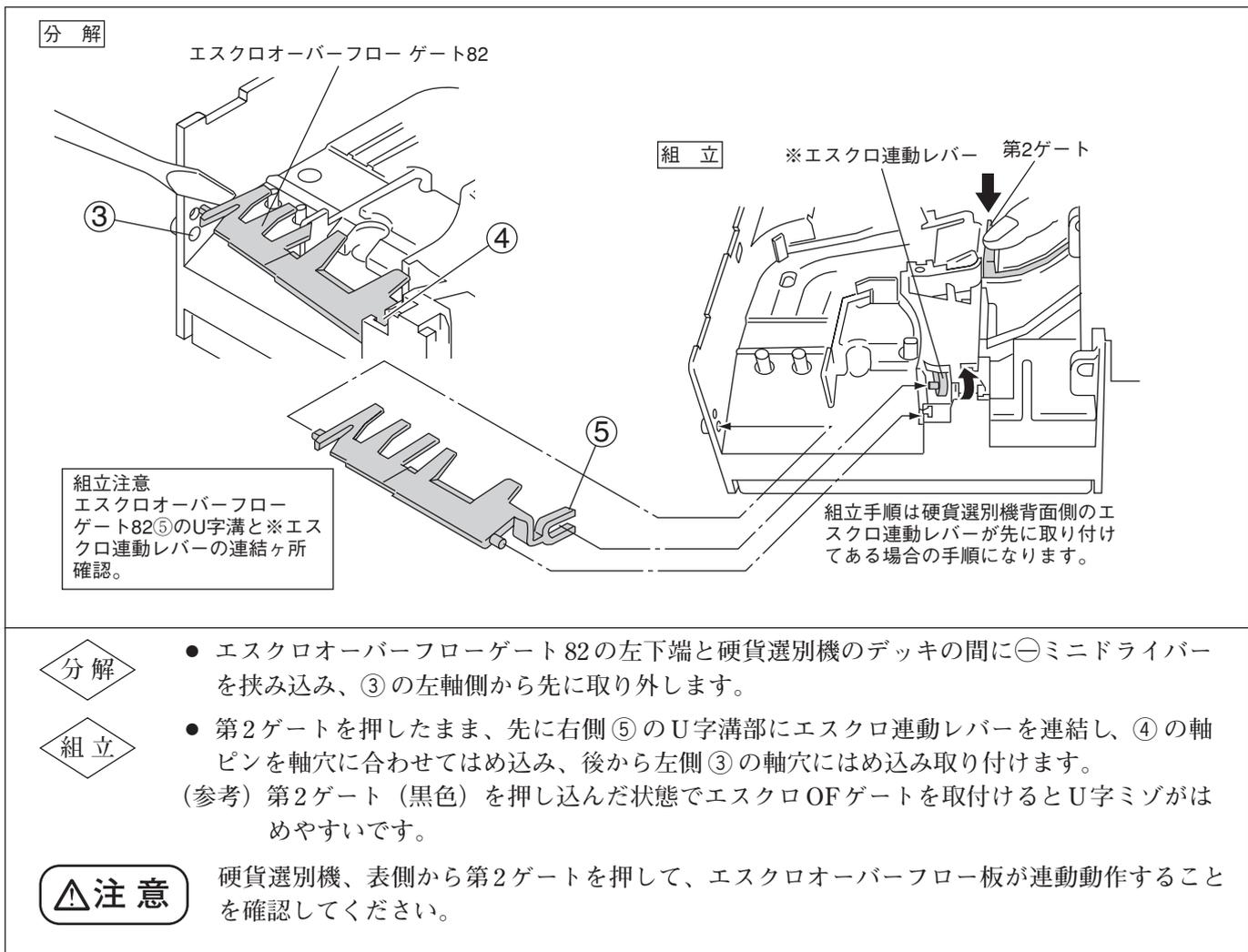


● 先に③の下側ゲート軸溝と、②の赤色のレバー溝を先にはめ込み、後から④の上側軸部を押し付けて取り付けます。

5-1. エスクロ返却ゲート 82

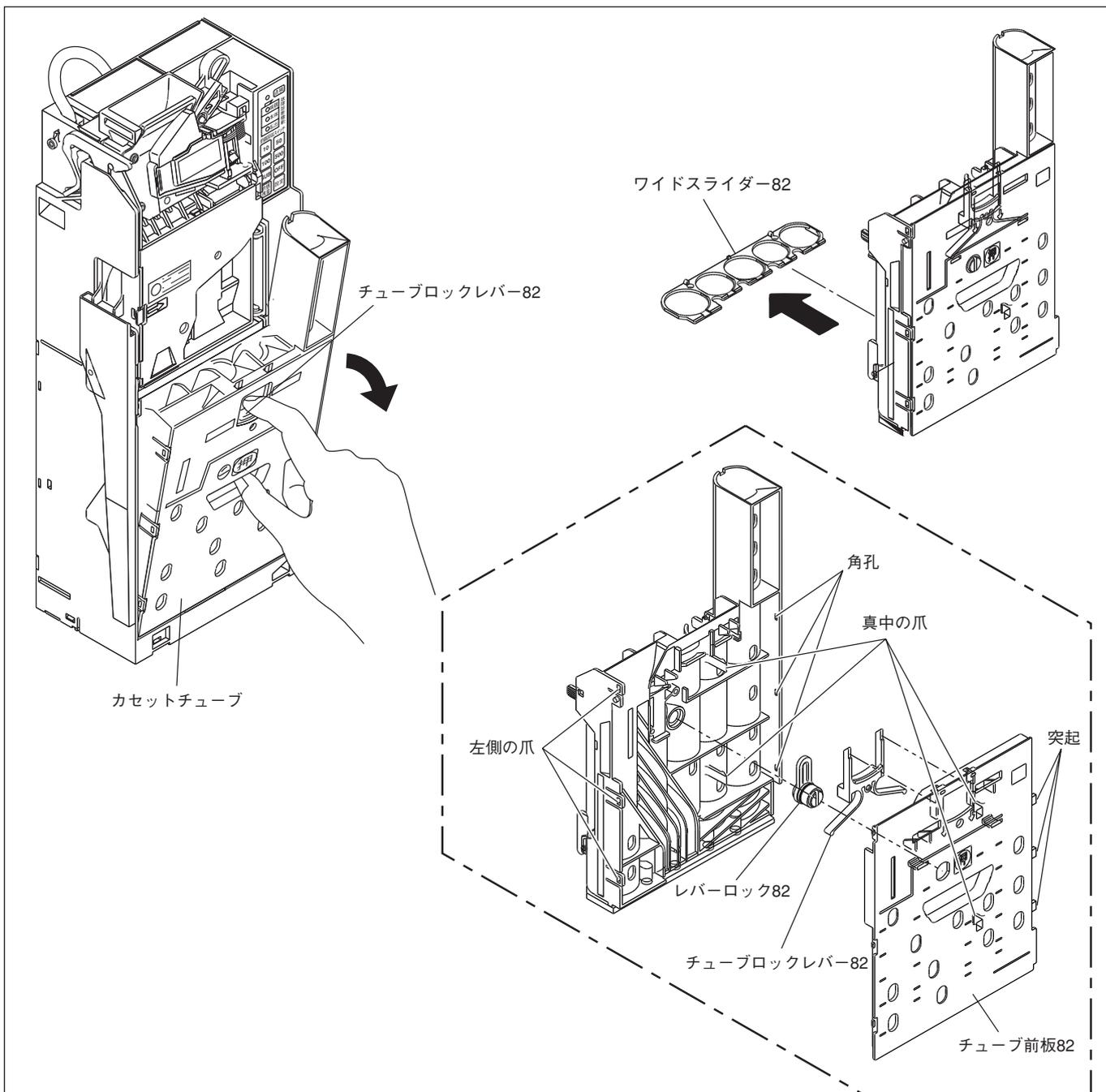


5-2. エスクロオーバーフローゲート板



■ 本体部の分解と組立

1. カセットチューブ 82 ・ チューブ前板 82 ・ チューブロックレバー 82 ・ ワイドスライダー 82 ・ レバーロック 82



◆ 分解

- カセットチューブは、レバーロック 82 を左へ回してからロックレバー 82 をつまみながら手前に倒して取外します。
- チューブ前板 82 はメインチューブ左側 3 ヶ所と真中 2 ヶ所の爪を取外し、左側から取外します。
- ロックレバー 82 を取外します。
- カセットチューブ下部からワイドスライダー 82 を矢印方向に引出して外します。

◆ 組立

- ロックレバー 82 を取付けます。
- チューブ前板 82 はメインチューブ右側 3 ヶ所の溝にチューブ前板の爪を合わせてから、真中 2 ヶ所、左側 3 ヶ所の爪を押し込んで取付けます。
- ロックレバー 82 がスムーズに動作することを確認します。
- ワイドスライダー 82 をカセットチューブ底部にはめ込み取付けます。
- メインチューブの下端を、本体に合わせてからカセットチューブを取付けます。

■ 払出し底部の分解と組立

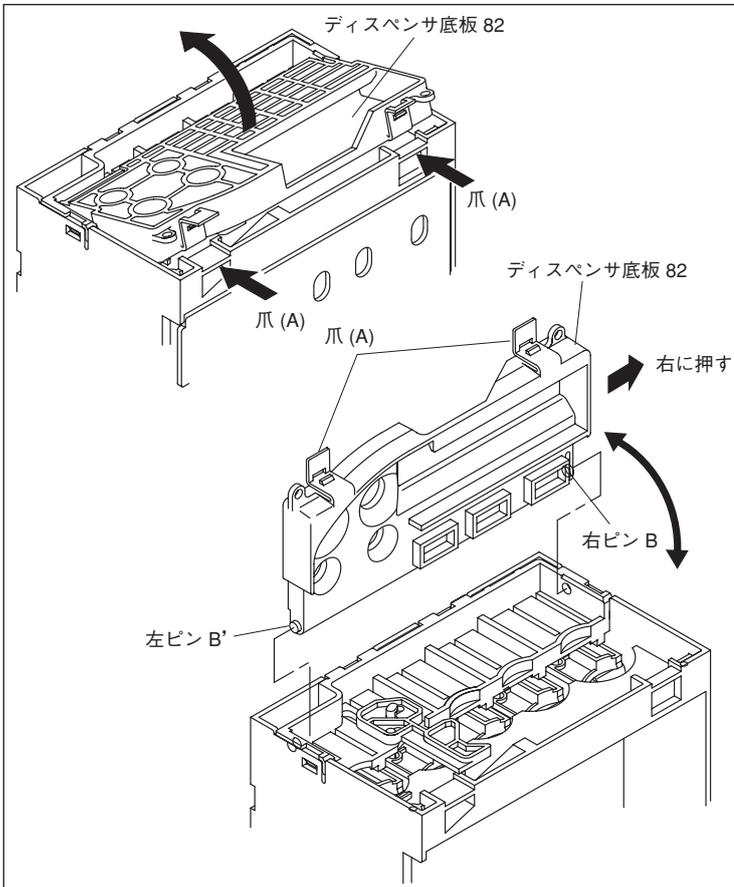


注意

払出し底部の分解と組立は、ディスペンサ Ass'y を本体に取付けた状態で行ってください。

● 払出し底部の分解と組立

1. ディスペンサ底板 82



◇ 分解

- ディスペンサ底板 82 の爪 (A) (2ヶ所) を押して開きます。
- 取外しは底板を右に押しながら左側のピン B を先に外し、次に右側のピン B を外します。

◇ 組立

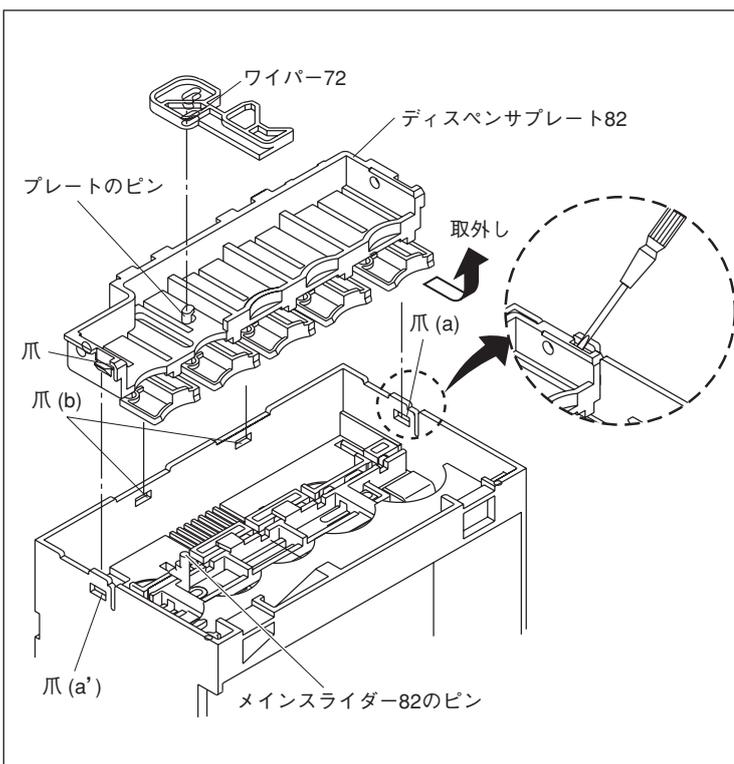
- 右側ピン (B) を先に本体に取付け、右に押しながら左側 (B') のピンをはめ込み、爪 (A) を本体に取付けます。



注意

爪 (A) 2ヶ所が確実に本体に掛かっていることを確認してください。

2. ディスペンサプレート 82 ・ワイパー 72



◇ 分解 ワイパー 72

- ワイパー 72 を取外します。

◇ 組立

- メインスライダ-82 とプレートのピンを合わせて、ワイパー 72 を取付けます。

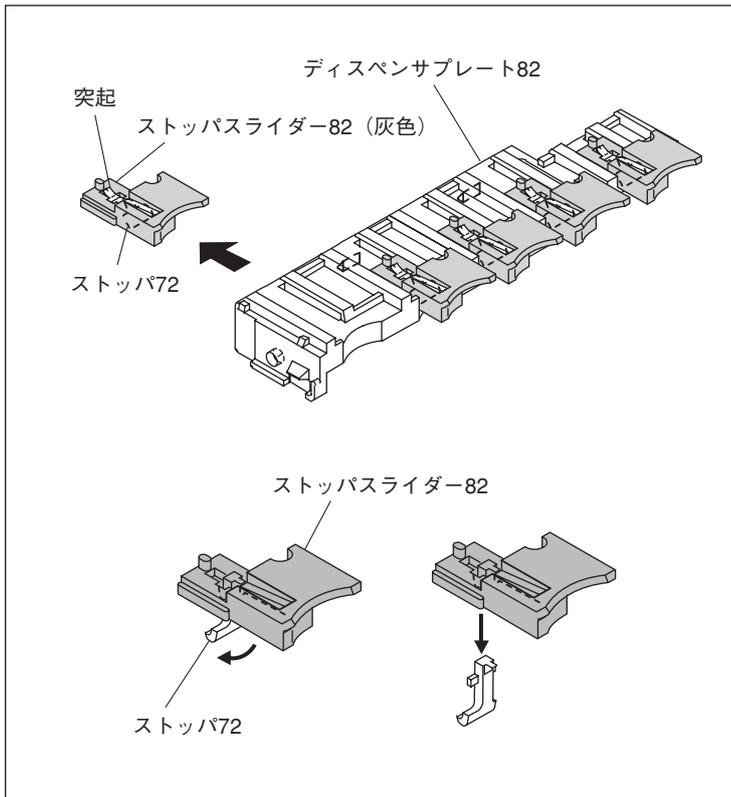
◇ 分解 ディスペンサプレート 82

- 始めに本体右側の爪 (a) とプレート の間に ⊖ ミニドライバーを挟み込み、プレートを ↗ 方向に持ち上げながら b、a' の順に爪を外します。

◇ 組立

- ディスペンサプレート 82 左側の (a') を先にはめ込み、爪背面 (b)、右 (a) の順に取付けます。

3. ストップスライダー 82 ・ ストップパ 72



◆ 分解 ストップスライダー 82 (灰色)

- ストップパ72の突起部を押しながら、矢印方向へ動かし、ストップスライダー82を取外す。

◆ 組立

- ストップスライダー82をロックが掛かる位置まで挿入する。

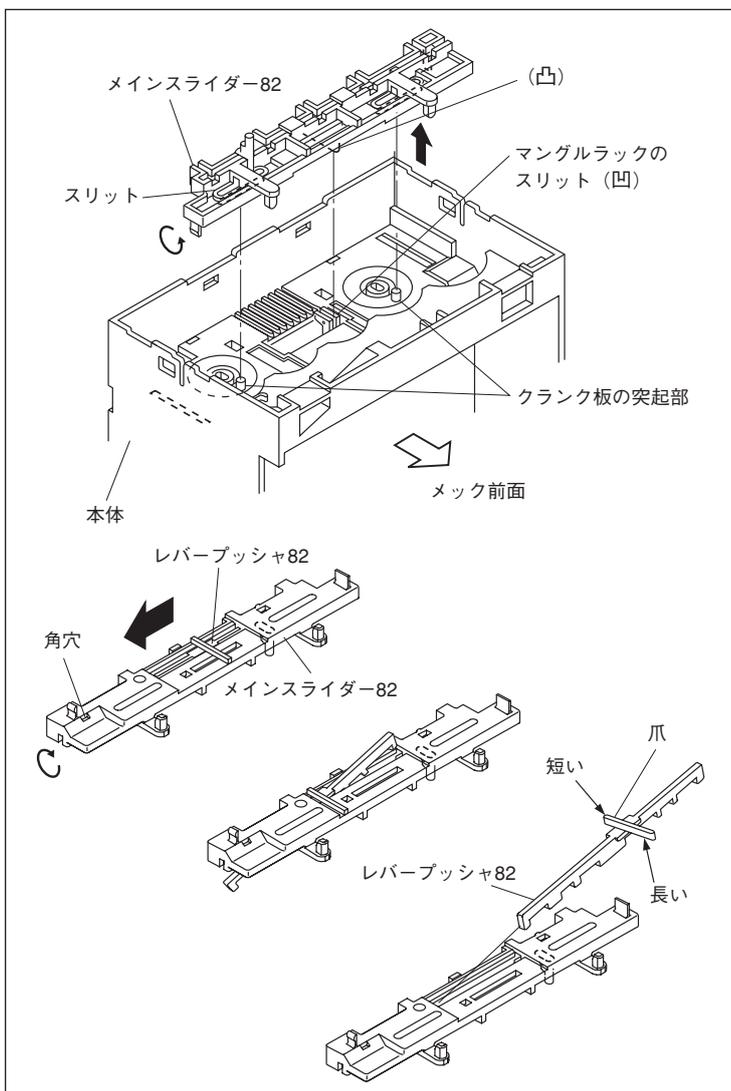
◆ 分解 ストップパ 72

- ストップパ72を回転させ取外す。

◆ 組立

- ストップパ72の向きに注意し、挿入して回転させる。

4. メインスライダー 82 ・ レバープッシャ 82



◆ 分解 メインスライダー 82

- 本体からメインスライダー82を取外す。

◆ 組立

- メインスライダー82のスリットが左右のクランク板の突起部に、レバープッシャ82の凸をマンゲルラックのスリット凹に合わせて取付ける。

◆ 分解 レバープッシャ 82

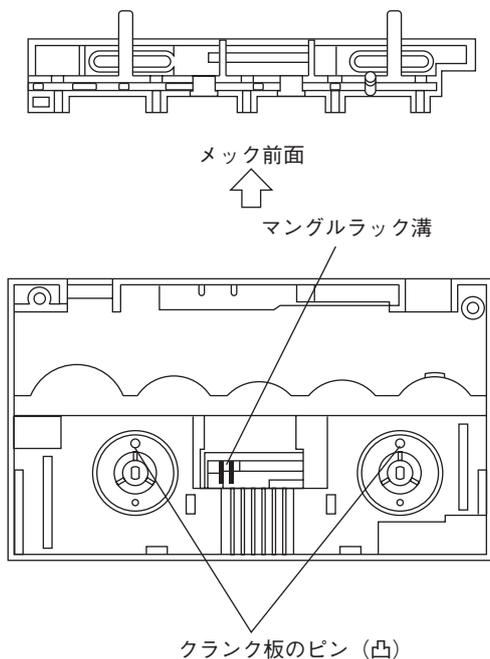
- レバープッシャ82を左端へよせ、メインスライダー82の角穴から、レバープッシャ82を押し。
- レバープッシャ82の右端をつまみあげる。
- レバープッシャ82左下端の爪をメインスライダー82から外して、取外す。

◆ 組立

- レバープッシャ82の爪の長い方を手前にして、メインスライダー82に挿入する。
- レバープッシャの右端をメインスライダー82に挿入して取付ける。

■ 払出し機構下部の組立方法 (詳細)

- 払出し機構下部を分解した場合は下記の手順どおりに組立てください。
- 組立図はコインメックを販売機から外し、底面 (払出し機構下部) から見たものです。



1. インベントリースイッチを操作してモータを回転させ、スイッチ OFF にて、クランク板のピンが左図の位置に停止することを確認してください。

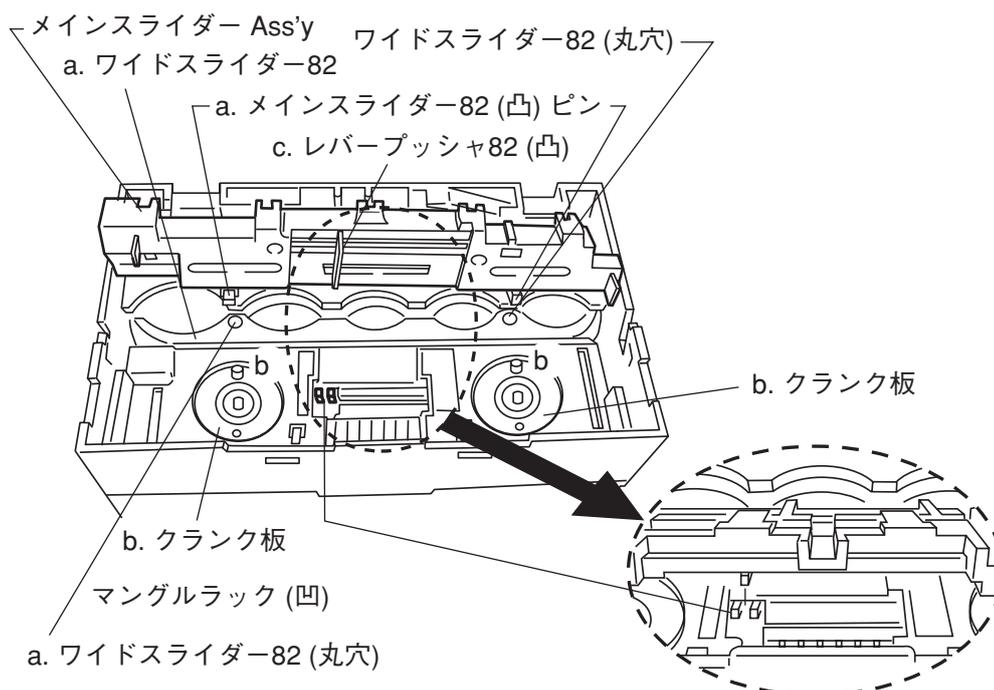
2. マングルラック溝が左端 (定位置) にあることを確認してください。左端からズレた位置にある場合はインベントリースイッチまたは電源 OFF-ON 操作にて左端に停止することを確認してください。

② クランク板のピン (2ヶ所凸) がメインスライダ-82のクランク溝 (凹) に入るようにしてください。

③ メインスライダ-82に付するレバープッシャ82結合ピン (凸) がマングルラック溝 (凹) に入るようにしてください。

- ①
- ワイドスライダ-を少し手前に引き出します。
 - ワイドスライダ-82の2ヶ所の丸穴に、メインスライダ-ピンを合わせてはめてください。

(メインスライダ-82が取付けにくいときは、カセットチューブを取り外してください。この場合は、②、③の順に組立えます。)



- 組立てたのち、電源を ON にして、インベントリースイッチを押して、そのチューブの払出し動作を確認してください。

